

bitdefender
internet security **2010**

クイックスタートガイド

BitDefender Internet Security 2010

BitDefender Internet Security 2010 クイックスタートガイド

発行 2009. 09. 15

製作著作© 2009 BitDefender

法的通知

無断複写・複製・転載を禁じます。この文書のいかなる部分も、BitDefenderの公式な代理人からの書面による許可がない限り、コピー、記録、あるいは他のあらゆる情報保管および抽出手段を含め、電子的あるいは機械的、どのような形態あるいはどのような方法でも複製または転送することを禁止します。レビューに簡単な引用を行うことは、引用元を併記すれば可能です。しかし、内容を編集することは一切できません。

警告および免責条項。この製品およびその関連文書は著作権で保護されています。文書に記載された情報は「現状まま」を前提に提供されており、一切の保証はありません。この文書の作成には十分な注意が払われていますが、記載された情報が直接あるいは間接の原因となった、または原因と疑われる、いかなる個人または法人の損失あるいは損害に対して筆者は一切の法的責任を負いません。

この文書には、BitDefenderが管理していないサードパーティのウェブサイトへのリンクが含まれています。BitDefenderでは、すべてのリンクされたサイトについて、その内容に責任を負いません。この文書に記載されたサードパーティのウェブサイトを訪問する場合は、ご自身の責任で行ってください。BitDefenderでは、こうしたリンクはお客様の利便性のために提供しているだけであり、リンクを記載したことにより、BitDefenderがそうしたサードパーティのサイトの内容について支持したり、認めたり、責任を負ったりすることを意味するものではありません。

商標。この図書には商標名が記載されている場合があります。この文書上のすべての登録商標および商標はそれぞれの所有者の所有物であり、謹んで承認されます。

BitDefender Internet Security 2010



目次

| | |
|--|----|
| 1. インストール | 1 |
| 1.1. システム要件 | 1 |
| 1.1.1. 必須システム要件 | 1 |
| 1.1.2. 推奨されるシステム要件 | 1 |
| 1.1.3. サポートされたソフトウェア | 2 |
| 1.2. インストールの準備 | 2 |
| 1.3. BitDefenderのインストール | 3 |
| 1.3.1. 製品登録ウィザード | 6 |
| 1.3.2. 設定ウィザード | 10 |
| 1.4. アップグレード | 18 |
| 2. 使い方 | 19 |
| 2.1. BitDefenderを開く | 19 |
| 2.2. ユーザインターフェース設定モード | 19 |
| 2.2.1. 初心者モード | 20 |
| 2.2.2. 中級者モード | 23 |
| 2.2.3. 上級者モード | 24 |
| 2.3. システムトレイのアイコン | 27 |
| 2.4. スキャンアクティビティバー | 28 |
| 2.4.1. ファイルとフォルダをスキャン | 28 |
| 2.4.2. スキャンアクティビティバーを無効/復元 | 29 |
| 2.5. BitDefender手動スキャン | 29 |
| 2.6. ゲームモードとノートPCモード | 31 |
| 2.6.1. ゲームモード | 31 |
| 2.6.2. ノートPCモード | 33 |
| 2.7. 自動検出装置 | 33 |
| 3. 問題を修正 | 35 |
| 3.1. 全ての問題を修正するウィザード | 35 |
| 3.2. 問題の監視を設定 | 37 |
| 4. Basic 設定 | 38 |
| 4.1. ユーザインターフェイス設定 | 39 |
| 4.2. セキュリティ設定 | 40 |
| 4.3. 全体設定 | 42 |
| 5. 履歴とイベント | 44 |
| 6. 登録とマイアカウント | 46 |
| 6.1. BitDefender Internet Security 2010を登録 | 47 |
| 6.2. BitDefenderをアクティベート | 48 |
| 6.3. ライセンスキーの購入 | 50 |
| 6.4. ライセンスを更新する | 50 |
| 7. 方法 | 51 |
| 7.1. ファイルとフォルダのスキャン方法 | 51 |

| | |
|--|----|
| 7.1.1. Windowsコンテキストメニューを使う | 51 |
| 7.1.2. スキャンタスクを使う | 51 |
| 7.1.3. BitDefender手動スキャンを使う | 54 |
| 7.1.4. スキャンアクティビティバーを使う | 55 |
| 7.2. コンピュータスキャンをスケジュールする方法 | 55 |
| 8. BitDefenderの修復または削除 | 58 |
| 9. トラブルシューティング | 59 |
| 9.1. インストールの問題 | 59 |
| 9.1.1. インストールの検証エラー | 59 |
| 9.1.2. インストールが失敗しました | 61 |
| 9.2. BitDefenderサービスは応答していません | 62 |
| 9.3. Wi-Fi (ワイヤレス) ネットワーク内で、ファイル及び共有プリンタが機能していません。 | 63 |
| 9.3.1. "信頼できるコンピュータ" のソリューション | 64 |
| 9.3.2. "安全なネットワーク" ソリューション | 66 |
| 9.4. アンチスパムフィルタが正しく稼動していません | 67 |
| 9.4.1. 問題がないメッセージが[spam]として区別されました。 | 67 |
| 9.4.2. 多くの迷惑メールメッセージが検出されていません。 | 71 |
| 9.4.3. アンチスパムフィルタは迷惑メールメッセージを検出しません。 | 74 |
| 9.5. BitDefenderの削除に失敗しました | 75 |
| 10. サポート | 76 |
| 10.1. ヘルプを依頼 | 76 |
| 10.2. 連絡先 | 76 |
| 10.2.1. ウェブアドレス | 76 |
| 10.2.2. BitDefender事業所 | 77 |

1. インストール

この章では、お客様がパソコンにBitDefenderを正しくインストールするために必要な全ての情報を記載しています。

- 「システム要件」 (p. 1)
- 「インストールの準備」 (p. 2)
- 「BitDefenderのインストール」 (p. 3)
- 「アップグレード」 (p. 18)

1.1. システム要件

BitDefender Internet Security 2010 は、以下のオペレーティングシステムが動作しているコンピュータで動作いたします：

- Windows XP (32/64 bit) サービスパック2以上
- Windows Vista (32/64 bit) 又は Windows Vista Service Pack 1又はそれ以上
- Windows 7 (32/64 bit)

インストールをする前に、お使いのコンピュータが最低限のハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしていることを確認してください。



注意

あなたがお使いのコンピュータがどのWindowsバージョンやハードウェアで動作しているのかを確認するには、デスクトップにある マイコンピュータ を右クリックし、メニューから プロパティ を選択します。

1.1.1. 必須システム要件

- 450 MBのハードディスク空き容量
- 800 MHz プロセッサ
- RAM メモリ：
 - ▶ Windows XP用 512MB
 - ▶ 1 GB (Windows Vista及びWindows 7)
- Internet Explorer 6.0
- .NET Framework 1.1(インストーラーに含まれています)

1.1.2. 推奨されるシステム要件

- 600 MBのハードディスク空き容量
- Intel CORE Duo (1.66 GHz) 又は それに相当するプロセッサ
- RAM メモリ：
 - ▶ 1 GB (WindowsXP及びWindows 7)

- ▶ 1.5 GB (Windows Vista)
- Internet Explorer 7 以上
- .NET Framework 1.1(インストーラーに含まれています)

1.1.3. サポートされたソフトウェア

アンチフィッシング保護は以下の製品に対して有効です：

- Internet Explorer 6.0以降
- Mozilla Firefox 2.5
- Yahoo Messenger 8.5
- Windows Live Messenger 8

インスタントメッセージ暗号化は以下の製品に対して有効です：

- Yahoo Messenger 8.5
- Windows Live Messenger 8

アンチスパム保護は全てのPOP3/SMTPメールクライアントに対応しています。 BitDefenderアンチスパムツールバーは、以下の製品に対応しています。

- Microsoft Outlook 2000 / 2003 / 2007
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Windows Mail
- Thunderbird 2.0.0.17

1.2. インストールの準備

BitDefender Internet Security 2010をインストールする前に、インストールが問題なく実行するために次の準備を完了してください：

- BitDefenderをインストールするコンピュータが、最低限のシステム要件を満たしているかどうかをご確認ください。コンピュータが全ての最低限のシステム要件を満たすことができない場合は、BitDefenderは、インストールされないか、もしくはインストールされたとしても正しく動作せず、システムが遅くなったり不安定になるかもしれません。システム要件の一覧を確認するには、「**システム要件**」(p. 1)をご参照ください。
- 管理者アカウントを使用してコンピュータにログオンしてください。
- コンピュータから他のセキュリティのソフトウェアを削除してください。2つのセキュリティプログラムを同時に実行すると、オペレーションに影響を与えて、システムに重要な問題を引き起こすかもしれません。Windows Defenderはデフォルトではインストール開始時に無効になります。
- コンピュータで実行しているかもしれないファイアーウォールプログラムを、無効又は削除してください。2つのファイアーウォールプログラムを同時に実行す

ると、オペレーションに影響を与えて、システムに重要な問題を引き起こすかもしれません。Windowsファイアーウォールは、インストールが開始される前にデフォルトで無効になります。

1.3. BitDefenderのインストール

BitDefenderは、BitDefenderインストールCDやBitDefenderウェブサイト、あるいは許可された他のウェブサイト（例えば、BitDefender パートナーのウェブサイトやオンラインショップ）から、インストールファイルをダウンロードして、インストールを実行することができます。次のアドレスのBitDefenderウェブサイトから、インストールファイルをダウンロードすることができます：<http://www.bitdefender.jp>。

- CDからBitDefenderをインストールをして、ドライブにCDを挿入します。ウェルカム画面がしばらく表示されます。説明に従って、インストールを開始してください。



注意

初期画面でインストールCDからUSBデバイスにインストールパッケージをコピーするオプションを提供します。これはCDドライブがついていないコンピュータでBitDefenderをインストールする場合に便利になります。記憶装置をUSBドライブに挿入して、USBにコピーするをクリックしてください。その後、CDドライブがないコンピュータを立ち上げて、記憶デバイスをUSBドライブに挿入します。インストールパッケージを保存したフォルダからrunsetup.exeをダブルクリックしてください。

ウェルカム画面が表示されない場合は、CDのルートディレクトリからこのパス製品¥インターネットセキュリティ¥インストール¥en¥にアクセスして、runsetup.exeをダブルクリックしてください。

- お使いのコンピュータでダウンロードされたインストールファイルを使用してBitDefenderをインストールするには、ファイルを指定してそれをダブルクリックしてください。

インストーラは、最初にお使いのシステムのインストール検証を行います。インストールが検証されると、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードの手順を次の画像で表示します。

BitDefender Internet Security 2010



インストール手順

以下の手順に従ってBitDefender Internet Security 2010をインストールしてください：

1. 次へをクリックします。 キャンセルをクリックすると、いつでもインストールをキャンセルすることができます。

お使いのコンピュータへインストールする際に、他のアンチウィルス製品が既に存在すると、BitDefender Internet Security 2010が警告します。該当する製品をアンインストールするには、削除をクリックしてください。検出された製品を削除せずにインストールを続けるには、次へをクリックしてください。



警告

BitDefenderをインストールする前に、検出された他のアンチウィルス製品をアンインストールすることを強くお薦めします。1台のコンピュータで2つ以上のアンチウィルス製品を同時に実行すると、システムが使用不能となる場合があります。

2. ライセンス契約をお読みになり、同意をクリックします。



重要項目

条件に同意していただけない場合は、キャンセルをクリックしてください。インストール処理は中断され、Setupを終了します。

3. 実行するインストールの形式を選択してください。

- 標準 - デフォルトのインストールオプションを使用して、今すぐプログラムをインストールします。このオプションを選択すると、手順6にスキップします。
- カスタム - インストールオプションを設定して、プログラムをインストールします。このオプションでインストールのパスを変更することができます。

4. デフォルトでは、BitDefender Internet Security 2010 はC:\Program Files\BitDefender\BitDefender 2010にインストールされています。インストール先のパスを変更するには、参照をクリックし、BitDefenderをインストールしたいフォルダを選択してください。

次へをクリックします。

5. インストール処理に関するオプションを選択してください。いくつかはデフォルトで選択されています：

- 「お読み下さい」ファイルを開く - インストールの最後で、「お読み下さい」ファイルを開きます。
- デスクトップにショートカットを保存 - インストールの最後で、BitDefender Internet Security 2010のショートカットをお使いのデスクトップ上に作成します。
- インストールが完了したらCDを取り出す - インストールの最後でCDを取り出します。このオプションは、CDから製品をインストールした場合にだけ表示されます。
- DNSキャッシングを無効にする - DNS(ドメインネームシステム)キャッシングを無効にする DNS Clientサービスは、悪意のあるアプリケーションが、ユーザーの確認なしに、ネットワークを通じて情報を送信することに使用されるかもしれません。
- Windowsファイアウォールを無効にする - Windowsファイアウォールを無効にします。



重要項目

BitDefender Internet Security 2010には先進のファイアウォールが内蔵されていますから、Windows ファイアウォールは無効にすることをお勧めします。同じコンピュータ上で2種類のファイアウォールを実行すると、問題を起こす原因となります。

- Windows Defenderを無効にする – Windows Defenderを無効にします。このオプションはWindows Vistaでのみ表示されます。

製品のインストールを開始するには、インストールをクリックします。もし、.NET Framework 1.1がインストールされていない場合には、BitDefenderインストラーは最初にこれをインストールいたします。

6. インストールが完了するまでお待ちください。次に 終了をクリックします。 設定ウィザードがインストール処理を完了するために、システムの再起動を促される場合があります。 その場合はできるだけ早く再起動するようお勧めします。



重要項目

インストール終了後、コンピュータを再起動します。**製品登録ウィザード**、そして**設定ウィザード**が表示されます。 製品登録ウィザードとBitDefender Internet Security 2010 の設定ウィザードを完了させて、BitDefenderアカウントを作成します。

1.3.1. 製品登録ウィザード

インストール後、はじめてコンピュータを再起動するときに製品登録ウィザードは表示されます。 ウィザードを使ってBitDefender製品の登録やBitDefenderアカウントの設定を簡単に行うことができます。

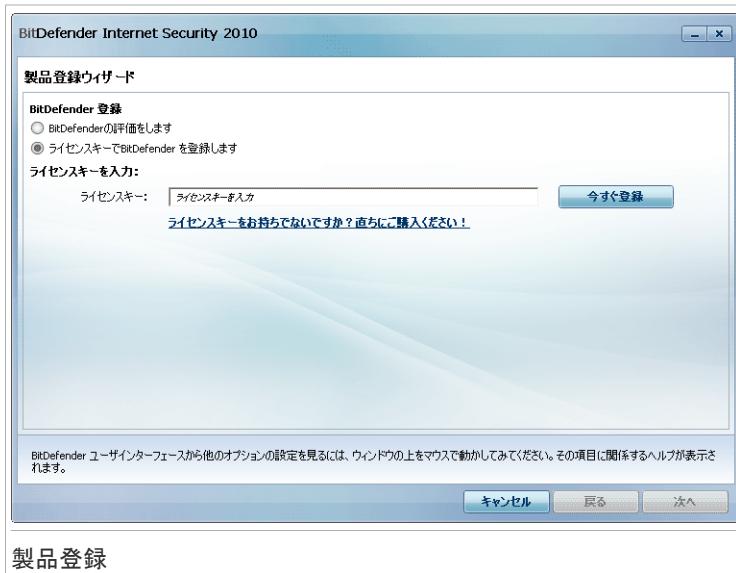
BitDefenderアカウントは、BitDefenderの更新に必要となりますので必ず作成してください。 BitDefenderアカウントは、無料のテクニカルサポートや製品をお得に購入できるご案内を受けることができます。 登録した電子メールアドレスとパスワードを使用し <http://myaccount.bitdefender.com>からマイページにログインすることができます。



注意

このウィザードを進めたくない場合、キャンセルをクリックしてください。 製品登録ウィザードは製品内に表示される登録をクリックすることでいつでも実行することができます。

手順 1 – BitDefender Internet Security 2010を登録



製品登録

BitDefender Internet Security 2010 には 30 日間の試用期間が設けられています。 製品の評価を継続するには、BitDefenderを評価する を選択して、次へをクリックします。

BitDefender Internet Security 2010を登録:

1. ライセンスキーでBitDefenderを登録するを選択します。
2. ライセンスキーを入力します。



注意

ライセンスキーは以下に記載されています :

- CDラベル
- 製品登録カード
- オンラインストアからのメール

BitDefenderライセンスをお持ちでない場合ははオンラインストアか代理店からライセンスキーをご購入ください。

3. 今すぐ登録するをクリックします。
4. 次へをクリックします。

有効なBitDefenderライセンスキーがお使いのシステムで検出された場合、次へをクリックすると、継続してこのキーを使用することができます。

手順 2 – BitDefenderアカウントを作成



アカウント作成

もし、いまBitDefenderアカウントを作成されない場合には、後で登録を選択し、終了をクリックしてください。それ以外の場合は、このまま進めます：

- 「まだBitDefenderアカウントをお持ちでない場合」 (p. 8)
- 「既にBitDefenderアカウントを持っている場合」 (p. 9)



重要項目

BitDefenderをインストールして15日以内にBitDefenderアカウントを作成してください。（ライセンスキーを登録した場合、BitDefenderアカウントの作成期限は30日まで延長されます。）登録がない場合にはBitDefenderは更新されなくなります。

まだBitDefenderアカウントをお持ちでない場合

正しくBitDefenderアカウントを作成するには、次の手順に従ってください：

1. 新しいアカウントを作成するを選択します。
2. 該当する欄に必要な情報を入力してください。入力いただいたデータの機密は守られます。

- 電子メール - お使いの電子メールアドレスをご入力ください。
- パスワード - 上で指定したユーザの有効なパスワードを入力してください。パスワードは6文字から16文字の間である必要があります。
- パスワードを再入力 - 入力したパスワードを再度入力してください。



注意

アカウントが有効になると、入力した電子メールアドレスとパスワードを使用し、<http://myaccount.bitdefender.com>からアカウントにログインしてください。

3. BitDefenderは製品の特別価格での販売のご案内やプロモーションを、アカウントとして登録していただいたお客様のメールアドレスに送信することができます。メニューから有効なオプションを選択してください：
 - 全てのメッセージを受信
 - 製品に関するメッセージだけを受信
 - 全てのメッセージを受け取らない
4. 作成をクリックしてください。
5. 終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。
6. アカウントを有効にする：アカウントを利用する前に、それを有効にする必要があります。メールをチェックして、BitDefender登録サービスから送られたメールに書かれている案内に従ってください。

既にBitDefenderアカウントを持っている場合

お客様が既にBitDefenderアカウントを登録されていれば、BitDefenderは自動でそのアカウントを検出します。この場合、お客様のアカウントのパスワードを入力して、サインインをクリックしてください。終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。

- 有効なアカウントを持っていて、BitDefenderがそれを検出しない場合は、そのアカウントで製品を登録するために次の手順に従ってください。
1. サインイン（以前に作成されたアカウント）を選択してください。
 2. 該当欄にお使いのアカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力してください。



注意

パスワードを忘れた場合は、パスワードを忘れたら？をクリックし指示に従ってください。

3. BitDefenderは製品の特別価格での販売のご案内やプロモーションを、アカウントとして登録していただいたお客様のメールアドレスに送信することができます。メニューから有効なオプションを選択してください：
 - 全てのメッセージを受信
 - 製品に関するメッセージだけを受信
 - 全てのメッセージを受け取らない
4. サインインをクリックしてください。
5. 終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。

1.3.2. 設定ウィザード

製品登録ウィザードを完了させると、設定ウィザードが表示されます。このウィザードは、主なBitDefender設定及びユーザインターフェースの設定を手助けするので、お使いのシステム要件により適応します。ウィザードの終了時、製品ファイル及びマルウェアシグネチャをアップデートすることが可能で、システムのファイルやアプリケーションがウィルスに感染していないかを確認するためにスキャンを実行することができます。

ウィザードは数少ない簡単な手順で構成されています。お客様の選択に応じて手順の数が決まります。全ての手順がここに表示されていますが、お客様の選択に応じて手順の数が変更されると通知いたします。

ウィザードの完了は必須ではありません。しかし、時間を節約し、BitDefender Internet Security 2010 をインストールする前にお使いのシステムが安全であることを確認するためにも、ウィザードの利用をお勧めします。このウィザードを進めたくない場合、キャンセルをクリックしてください。ユーザインターフェースを開いたとき、設定が必要なコンポーネントがあると通知されます。

手順 1 - 使用プロファイルの選択



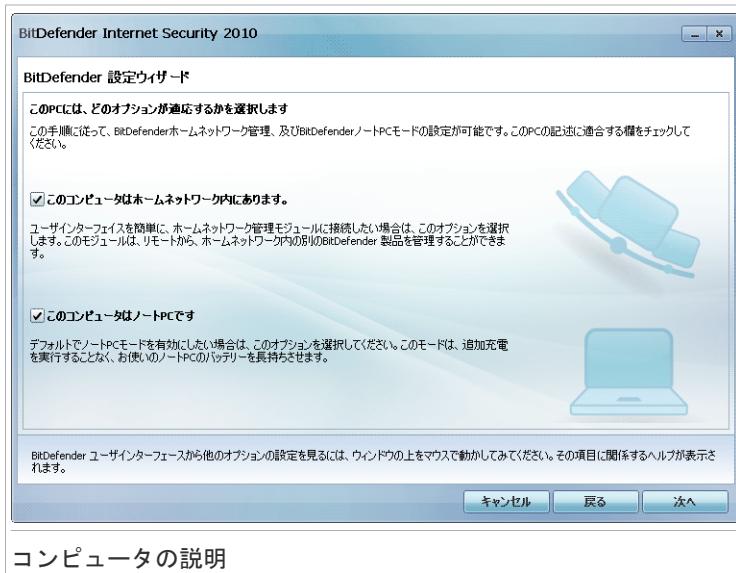
使用プロファイル

このコンピュータで実行される業務をもっとよく説明しているボタンをクリックします。（使用プロファイル）

| オプション | 解説 |
|---------|--|
| Typical | ブラウジングやマルチメディア用にこのPCをお使いになる場合は、ここをクリックしてください。 |
| Parent | お子様がこのPCを使用している場合や、ペアレンタルコントロールモジュールを使用して、インターネットへの接続をコントロールしたい場合は、ここをクリックします。 |
| ゲーマー | このPCが主にゲーム用で使用されている場合は、ここをクリックしてください。 |
| カスタム | BitDefenderの全ての主な設定を行いたい場合は、ここをクリックしてください。 |

後で製品のインターフェースから、使用プロファイルをリセットすることができます。

手順 2 - コンピュータの記述



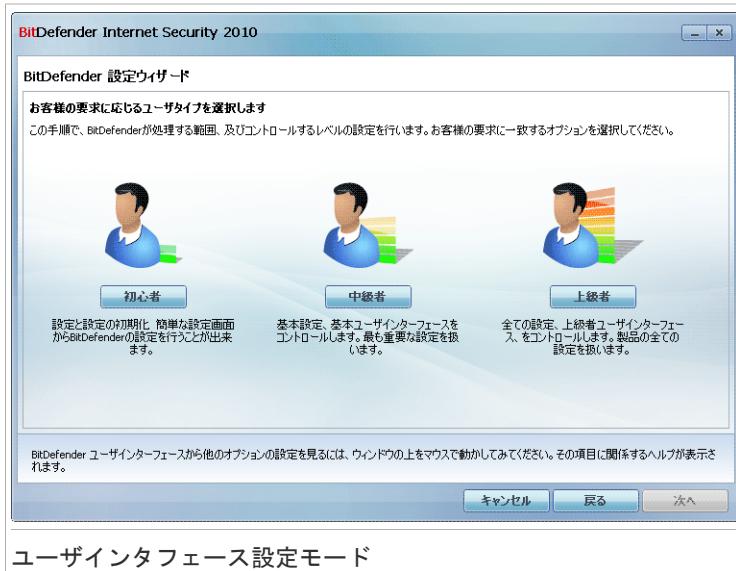
コンピュータの説明

お使いのコンピュータに適用するオプションを選択します：

- このコンピュータはホームネットワーク内にあります。. このコンピュータにインストールしたBitDefender製品をリモートから（別のコンピュータから）管理したい場合は、このオプションを選択してください。 追加のウィザード手順で、ホームネットワーク管理機能を設定することができます。
- このコンピュータはノートPCです。 デフォルトでノートPCモードを有効にしたい場合は、このオプションを選択してください。 ノートPCモード中は、スケジュールされたスキャンタスクは実行されません。なぜならば、より多くのシステムリソースを要求するので、電力消費が暗黙的に増加するからです。

次へをクリックしてください。

手順 3 - ユーザインターフェースの選択



ユーザインターフェース設定モード

お使いのコンピュータスキルを最も良く説明しているボタンをクリックして、適切なユーザーインターフェースを選択してください。お客様のコンピュータスキルや、BitDefenderを使用していた過去の経験に合わせて、以下の3つのユーザインターフェイスからモードを選択できます。

| モード | 解説 |
|--------|--|
| 初級者モード | コンピュータの初心者及び、簡単な設定でBitDefenderがコンピュータとデータを保護してほしいユーザに適しています。このモードは、使い方が簡単で、最小限のやり取りで設定が可能です。 お客様に行っていただくことは、BitDefenderが表示した既存の問題を修復するだけです。使いやすく段階を追った手順のウィザードが、問題修復の手助けをします。さらに、BitDefenderウィルスシグネチャ、製品ファイル、またはコンピュータのスキャンのアップデート等、共通のタスクを実行することができます。 |
| 中級者モード | コンピュータスキルが標準なユーザに適しています。このモードは、初級者モードで出来る内容を拡張しています。 |

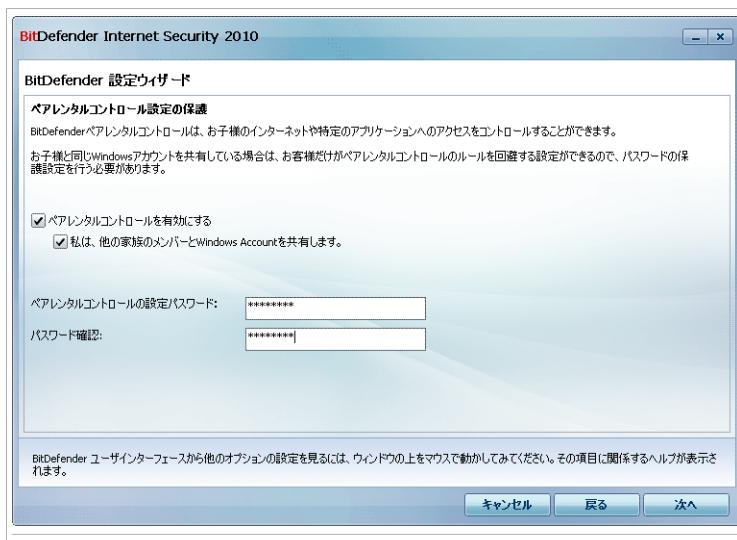
| モード | 解説 |
|--------|--|
| | 問題を別々に修復することが出来、どの問題を監視するかを選択します。さらには、リモートから、ご自宅のコンピュータにインストールされている BitDefender 製品を管理することができます。 |
| 上級者モード | このモードは、上級者ユーザに適しており、BitDefender の各機能を全面的に設定することができます。また、お使いのコンピュータやデータを保護するため、提供されている全てのタスクを使用することができます。 |

手順 4 – ペアレンタルコントロールの設定



注意

この手順は、手順1でカスタムオプションを選択した場合のみ表示されます。



ペアレンタルコントロールの設定

BitDefenderペアレンタルコントロールは、お使いのシステムのアカウントごとにアクセスできるサイト、アプリケーションをコントロールすることができます。

ペアレンタルコントロールを有効にするには、次の手順を実行してください：

1. ペアレンタルコントロールを有効にするを選択してください。

2. お使いのWindowsユーザーアカウントをお子様と共有している場合は、該当するチェック欄を選択して、ペアレンタルコントロール設定を保護するためにパスワードを入力してください。ペアレンタルコントロールの設定を変更しようとすると際には、セットされたパスワードを入力するよう求められます。

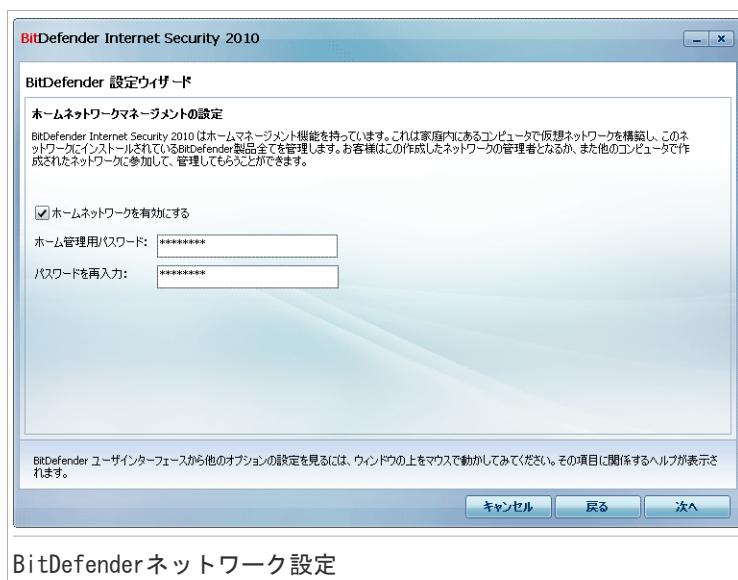
次へをクリックしてください。

手順 5 – BitDefender ネットワークの設定



注意

この手順は、手順2でコンピュータがホームネットワークに接続するように指定した場合にだけ表示されます。



BitDefender ネットワーク設定

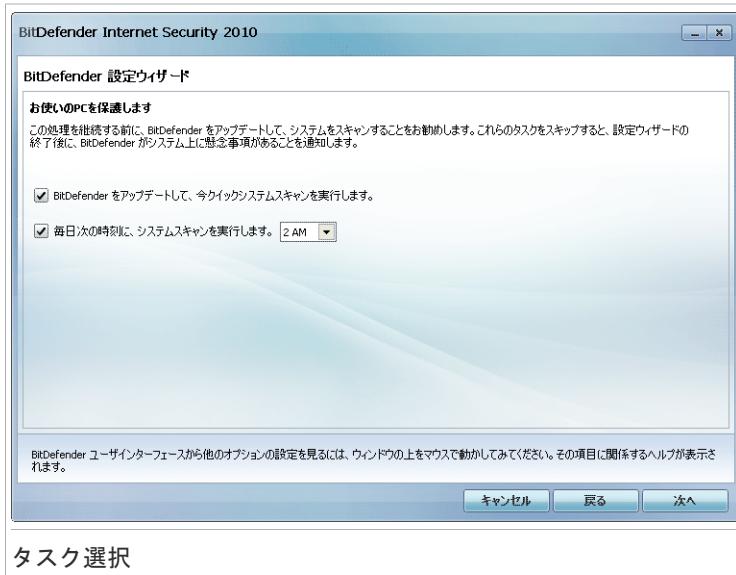
BitDefenderは家庭内にあるコンピュータで仮想ネットワークを構成することができ、BitDefender製品のインストールや管理を行うことができます。

このコンピュータをBitDefenderネットワークに参加させるには、以下の手順に従ってください：

1. ネットワークを有効にするを選択してください。
2. 入力欄に同じ管理者パスワードを入力します。このパスワードで他のコンピュータのBitDefender製品の管理を行うことができるようになります。

次へをクリックしてください。

手順 6 - 実行するタスクを選択



タスク選択

お使いのシステムのセキュリティが重要なタスクを実行するよう、BitDefenderを設定してください。 以下のオプションを指定できます：

- BitDefenderをアップデートして、今すぐクイックシステムスキャンを実行します – 次の手順の間、BitDefenderのウィルスシグネチャ及び製品ファイルが、最新の脅威に対してお使いのコンピュータを保護するためにアップデートされます。 また、アップデートの完了後直ぐに、BitDefenderはWindows と プログラムファイルフォルダからファイルをスキャンして、ウィルスに感染していないかを確認します。 これらのフォルダには、オペレーティングシステムのファイル、及びインストールされたアプリケーションのファイルが入っていて、通常最初にウィルスに感染します。
- 毎日午前2時にシステムスキャンを実行する – BitDefenderが毎日午前2時にお使いのコンピュータで標準スキャンを実行するように設定します。 スキャンを実行する時間を変更するには、メニューをクリックして、希望する開始時間を選択します。 もしスケジュールした時間にコンピュータが停止している場合、そのスキャンは次にコンピュータを起動した時間に実行されます。



注意

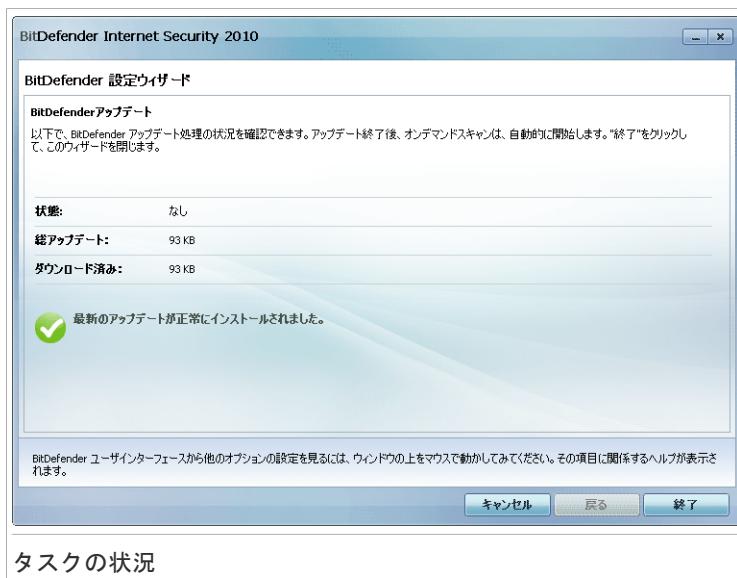
後でスキャンを実行する時間を変更したい場合は、次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左メニューにあるアンチウィルスをクリックします。
3. ウィルススキャンタブをクリックします。
4. システムスキャンタスクを右クリックして、スケジュールを選択します。新しいウィンドウが開きます。
5. 頻度と開始時間に必要に応じて変更する。
6. OKをクリックして変更を保存します。

お使いのシステムのセキュリティを万全にするためにも、次の手順へ進む前にこれらのオプションを有効にしておくことをお勧めします。次へをクリックしてください。

最初のチェック欄を削除すると、ウィザードの最終手順で実行するタスクはありません。終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。

手順 7 - 終了



タスクの状況

BitDefender がマルウェアシグネチャやスキャンエンジンをアップデートするまで、お待ちください。アップデートが完了すると、クリックシステムスキャンが起動します。スキャンはバックグラウンドで実行されます。 スキャンが進行していることを表示するアイコンがシステムトレイにあることが確認できます。このアイコ

ンをクリックするとスキャンウィンドウが開き、スキャン状況をみることができます。

終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。スキャン完了まで、待つ必要はありません。



注意

スキャンにはしばらく時間がかかります。終了時にスキャン画面を開いて、お使いのシステムがクリーンかどうかスキャン結果をご確認ください。もしウイルスがスキャン中に検出された場合、すぐにBitDefenderをオーブンしてフルシステムスキャンを実行してください。

1.4. アップグレード

BitDefender Internet Security 2010 ベータ版、あるいは2008、2009のバージョンを使用している場合は、BitDefender Internet Security 2010 をアップグレードすることができます。

アップグレードを実行する二つの方法があります：

- BitDefender Internet Security 2010を、古いバージョンから直接インストールします。2009バージョンを直接インストールする場合は、友人及び迷惑メール送信リスト、隔離領域は自動的に読み込まれます。
- 古いバージョンを削除して、コンピュータを再起動し、「[BitDefenderのインストール](#)」(p. 3)章に記述されている新しいバージョンをインストールしてください。製品設定は保存されません。他の方法が上手くいかない場合は、このアップグレード方法をお使いください。

2. 使い方

インストールされたBitdefenderはコンピュータを守ります。 **設定ウィザード**を終えていない場合は、まずBitDefenderを開いて問題を修正してください。 特定のBitDefenderコンポーネントを構成するか、予防的な処理を行ってコンピュータとデータを守ってください。 特定した問題に関して、BitDefenderが警告を出さないように設定することができます。

製品登録（BitDefenderアカウントの作成を含む）をしていない場合には、試用期間終了までに登録を行う必要があります。 BitDefenderをインストールして15日以内にBitDefenderアカウントを作成してください。（ライセンスキーを登録した場合、BitDefenderアカウントの作成期限は30日まで延長されます。） 登録がない場合にはBitDefenderは更新されなくなります。 登録手続きに関しては以下を参照してください。 「**登録とマイアカウント**」（p. 46）。

2.1. BitDefenderを開く

BitDefender Internet Security 2010のメインインターフェースを開くには、Windowsスタートメニューから、 スタート → プログラム → BitDefender 2010 → BitDefender Internet Security 2010 を選ぶか、又はより早い方法として、次のシステムトレイ内の BitDefender アイコンをダブルクリックしてください。

2.2. ユーザインターフェース設定モード

BitDefender Internet Security 2010 はコンピュータに詳しい人だけでなく、初心者でも簡単に使うことができます。 グラフィカルなユーザインターフェースは全ての方々に使いやすいうようにデザインされています。

お客様のコンピュータスキルや、BitDefenderを使用していた過去の経験に合わせて、以下の3つのユーザインターフェイスからモードを選択できます。

| モード | 解説 |
|--------|---|
| 初級者モード | <p>コンピュータの初心者及び、簡単な設定でBitDefenderがコンピュータとデータを保護してほしいユーザに適しています。このモードは、使い方が簡単で、最小限のやり取りで設定が可能です。</p> <p>お客様に行っていただくことは、BitDefenderが表示した既存の問題を修復するだけです。使いやすく段階を追った手順のウィザードが、問題修復の手助けをします。 さらに、BitDefenderウィルスシグネチャ、製品</p> |

| モード | 解説 |
|--------|--|
| | ファイル、またはコンピュータのスキャンのアップデート等、共通のタスクを実行することができます。 |
| 中級者モード | コンピュータスキルが標準なユーザに適しています。このモードは、初級者モードで出来る内容を拡張しています。 |
| | 問題を別々に修復することが出来、どの問題を監視するかを選択します。さらには、リモートから、ご自宅のコンピュータにインストールされている BitDefender 製品を管理することができます。 |
| 上級者モード | このモードは、上級者ユーザに適しており、BitDefender の各機能を全面的に設定することができます。また、お使いのコンピュータやデータを保護するため、提供されている全てのタスクを使用することができます。 |

ユーザインターフェースモードは、設定ウィザードで選択されています。このウィザードは、登録ウィザード（製品のインストール後、最初にコンピュータを開くと表示）の後に表示されます。登録ウィザードをキャンセルすると、ユーザインターフェースは、デフォルトで'中級者モード'に設定されます。

ユーザインターフェースモードを変更するには、以下の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開く。
2. ウィンドウの右上有る設定 ボタンをクリックしてください。
3. ユーザインターフェイスの設定カテゴリ内の、■にある矢印をクリックして、メニューから対象のモードを選択します。
4. OKをクリックして、変更を保存し、それを適用してください。

2.2.1. 初心者モード

お客様のコンピュータスキルが初級者の場合は、表示されているユーザインターフェイスの'初心者モード'は、最も適しています。このモードは使い方が簡単で、最低限の設定のみです。



初心者モード

このウィンドウは、4つの主なセクションで構成されています：

- セキュリティの状態 が、お使いのコンピュータセキュリティに影響を与える問題をお知らせし、それを修復する手助けをします。全ての問題を解決するをクリックすると、ウィザードが、お客様のコンピュータやデータセキュリティに対する脅威を、簡単に削除します。 詳細については、「問題を修正」 (p. 35) を参照してください。
- PCを保護する では、お使いのコンピュータやデータを保護するために必要なタスクを検出することができます。 実行可能な有効なタスクは、選択した使用プロファイルに応じて異なります。
 - ▶ 今すぐスキャン ボタンは、ウィルス、スパイウェア、他のマルウェアに対して、お使いのシステムに標準スキャンを開始します。 アンチウィルス スキャン ウィザードは、スキャン処理を通して表示されます。
 - ▶ 今すぐアップデートボタンは、BitDefenderのウィルスシグネチャ及び製品ファイルのアップデートを手助けをします。 アップデート状況を表示するウィンドウが新たに開きます。 アップデートが検出されると、お使いのコンピュータに自動的にダウンロードされて、インストールを実行します。
 - ▶ 標準 プロファイルが選択されると、脆弱性チェック ボタンがウィザードを開始して、期限切れのソフトウェアや行われていないWindowsアップデート等の、システムの脆弱性を発見して修復します。

- ▶ ペアレントプロファイルを選択すると、ペアレンタルコントロール ボタンで、ペアレンタルコントロールを設定します。ペアレンタルコントロールは、お客様が定義したルールに基づいて、お子様のコンピュータ及びオンライン活動を制限します。各種制限には、不適切なウェブサイトのブロックの他に、指定したスケジュールに従ったゲームやインターネットのアクセス制限を含んでいます。 詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考にしてください。
 - ▶ ゲーマープロファイルが選択されると、ゲームモードをオン/オフに切り替えるボタンで **ゲームモード** を有効/無効に切り替えることができます。 ゲームモードは一時的に保護設定を変更してシステムパフォーマンスに与える影響を最小限にします。
- お使いのPCの性能を維持 では、お使いのコンピュータやデータを保護するために追加のタスクを見つけることができます。
- ▶ ファイル金庫に追加 ウィザードを開始して重要なファイル、ドキュメントを暗号化された特別の金庫 ドライブに格納します。
 - ▶ 完全システムスキャン は、全ての種類のマルウェアに対して、お使いのシステム全体のスキャンを開始します。
 - ▶ マイドキュメントのスキャンは、最も良く使用されているフォルダのウィルスや他のマルウェアをスキャンします：マイドキュメント 及び デスクトップ。これは、お使いのドキュメントの安全性、安全なワークスペース、及び起動時にクリーンなアプリケーションが実行することを保つことができます。
- 使用プロファイル は、現在選択している使用プロファイルを表示します。 使用プロファイルは、コンピュータで実行された主な処理を示します。ユーザプロファイルに応じて、製品インターフェースは、希望するタスクへ簡単にアクセスすることができるよう構成されています。
- 別のプロファイルに切り替える、または現在使用しているものを修正するには、プロファイルをクリックして、この**設定 ウィザード**に従ってください。
- ウィンドウの右上にある、設定ボタンで確認することができます。ユーザインターフェースモードの変更や、 BitDefenderの主な設定を有効/無効にすることができます。 詳細については、次を参照してください。 「**Basic 設定**」 (p. 38).
- ウィンドウの右下に、複数の便利なリンクがあります。
- | リンク | 解説 |
|-------|--|
| 購入／更新 | ウェブページを開いて、そこでBitDefender Internet Security 2010のライセンスキーを購入できます。 |
| 登録 | 新しいライセンスキーの登録やいまのライセンスキーの有効期限などを確認することができます。 |

リンク

解説

ヘルプ & サポート BitDefenderの使い方を表示するヘルプファイルです。

2.2.2. 中級者モード

中級者モードは、標準的なコンピュータスキルのユーザが対象で、基本レベルで、全てのモジュールに対してアクセスできる簡単なインターフェイスです。ユーザは、通知や重大な警告を追跡して、望ましくない問題を解決する必要があります。



中級者モード

中級者モード画面は、5つのタブで構成されています。以下のテーブルで、各タブを簡単に説明しています。 詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考にしてください。

| タブ | 解説 |
|-----------|--|
| Dashboard | お使いのシステムのセキュリティの状況を表示して、使用プロファイルをリセットしてください。 |
| セキュリティ | セキュリティモジュール（アンチウィルス、アンチフィッシング、ファイアウォール、アンチスパム、IM暗号化、プライバシー、脆弱性チェック、アップデートモジュール）の状態 |

| タブ | 解説 |
|----------|--|
| | を表示します。またアンチウィルス、アップデート、脆弱性チェックタスクへのリンクがあります。 |
| Parental | ペアレンタルコントロールモジュールの状態を表示します。ペアレンタルコントロールはお子様のインターネットへのアクセスや指定したアプリケーションの利用に、使用を制限することができます。 |
| ファイル金庫 | ファイル金庫の状態とそこへのリンクを表示します。 |
| ネットワーク | BitDefenderネットワークを表示する。ここではホームネットワークに参加しているBitDefender製品のさまざまな設定や管理を行うことができます。このようにして、ホームネットワーク内のセキュリティを、1台のコンピュータから管理することができます。 |

ウィンドウの右上にある、設定ボタンで確認することができます。ユーザインターフェースモードの変更や、 BitDefenderの主な設定を有効/無効にすることができます。 詳細については、次を参照してください。 「Basic 設定」 (p. 38)。

ウィンドウの右下に、複数の便利なリンクがあります。

| リンク | 解説 |
|-------|--|
| 購入／更新 | ウェブページを開いて、そこでBitDefender Internet Security 2010のライセンスキーを購入できます。 |
| 登録する | 新しいライセンスキーの登録やいまのライセンスキーの有効期限などを確認することができます。 |
| サポート | BitDefenderのサポートウェブページを開きます。 |
| ヘルプ | BitDefenderの使い方を表示するヘルプファイルです。 |
| ログを表示 | BitDefenderを使って行ったタスクの履歴を確認することができます。 |

2.2.3. 上級者モード

上級者モードでは、 BitDefenderの各コンポーネントにアクセスすることができます。ここで詳細にBitDefenderを設定することができます。



注意

上級者モードは、標準的なコンピュータスキル以上のユーザが対象で、コンピュータの脅威の種類や、どのようにセキュリティプログラムが実行するかを理解している方です。

BitDefender Internet Security 2010 - 試用

設定 システム情報

一般

ダッシュボード

セキュリティの状態

警告: 問題が発生したPCのセキュリティ上あります
ステータスの追跡を設定

すべての問題を修正

統計データ

スキャンしたファイル数: 1593
駆除したファイル数: 0
検出した感染ファイル数: 0
前回のシステムスキャン: なし
次回のスキャン: 2009/08/21 2:00:00

概要

最新のアップデート: 2009/08/20 17:04:05
BitDefender アカウント: 製品はアクティベートされていません
製品登録状況: 試用
有効期限: 30 日

BitDefender ユーザインターフェースから他のオプションの設定を見るには、ウィンドウの上をマウスで動かしてみてください。その項目に関係するヘルプが表示されます。

bitdefender

購入 今すぐ登録 サポート ヘルプ ログを表示

上級者モード

設定コンソールの左側で選択できるモジュールを確認できます： 各モジュールには、該当するセキュリティ設定を行えるタブが1つ以上あり、セキュリティ又は管理タスクを実行します。以下のテーブルは、各モジュールを簡単に説明しています。詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考にしてください。

| モジュール | 解説 |
|---------|--|
| 一般 | 一般設定へのアクセスやダッシュボード、システム情報を見ることができます。 |
| アンチウィルス | ウィルスからの保護や例外の設定、隔離モジュールの設定などスキャンの詳細を設定することができます。 |
| アンチスパム | 受信箱をいつもスパムメールがない状態にするためにアンチスパム設定を詳細に構成します。 |

| モジュール | 解説 |
|--------------|--|
| ペアレンタルコントロール | 構成されたコンピュータアクセスルールに基づき、お子さまを不適切なコンテンツから守ります。 |
| 個人情報コントロール | コンピュータがオンラインの時に個人情報が漏洩することを防ぐことができます。 |
| ファイアウォール | お使いのコンピュータを、許可していない外部への接続、また外部から内部への接続を保護します。これは入り口にいるガードマンに似ています。インターネット接続を監視して、インターネットへアクセスを許可する人、ブロックする人を管理します。 |
| 脆弱性 | 重要なソフトウェアを常に最新版に保つことができます。 |
| 暗号化 | Yahoo、Windows Live(MSN) メッセンジャーの通信を暗号化します。また重要なファイル、フォルダ、パーティションも暗号化します。 |
| ゲーム/ノートPCモード | ノートPCがバッテリで動作している時にスケジュールされているタスクを延期したり、ゲームを楽しんでいる時に全てのアラートやポップアップを表示しないようにします。 |
| ホームネットワーク | 自宅内でネットワークに接続されているコンピュータを管理することができます。 |
| アップデート | 製品のアップデートやアップデートに関する詳細の設定を行うことができます。 |
| 登録 | BitDefender Internet Security 2010 を登録、ライセンスキーを変更、または BitDefender アカウントを作成することができます。 |

ウィンドウの右上にある、設定ボタンで確認することができます。ユーザインターフェースモードの変更や、BitDefenderの主な設定を有効/無効にすることができます。 詳細については、次を参照してください。 「Basic 設定」 (p. 38).

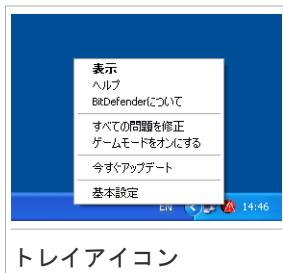
ウィンドウの右下に、複数の便利なリンクがあります。

| リンク | 解説 |
|-------|--|
| 購入／更新 | ウェブページを開いて、そこでBitDefender Internet Security 2010のライセンスキーを購入できます。 |
| 登録する | 新しいライセンスキーの登録やいまのライセンスキーの有効期限などを確認することができます。 |

| リンク | 解説 |
|-------|---------------------------------------|
| サポート | BitDefenderのサポートウェブページを開きます。 |
| ヘルプ | BitDefenderの使い方を表示するヘルプファイルです。 |
| ログを表示 | BitDefenderを使って行ったタスクの履歴を確認することができます。 |

2.3. システムトレイのアイコン

製品全体をより早く管理するには、システムトレイ内にある、このBitDefenderアイコンを使用することができます。アイコンをダブルクリックするとBitDefenderが開きます。アイコンを右クリックするとBitDefender製品を素早く管理できるコンテキストメニューが呼び出せます。



トレイアイコン

- 表示 – BitDefenderのメイン画面を開きます。
- ヘルプ – ヘルプファイルを開きます。ヘルプにはBitDefender Internet Security 2010の設定方法、使い方が詳細に書かれています。
- 説明 – BitDefenderおよび何か問題が起きた際の連絡先について情報を確認できるウィンドウが開きます。
- すべての問題を修正 – 現時点でのセキュリティ上の脆弱性を除去する手助けをします。 このオプションが利用できない場合は、何も修正すべき問題がありません。 詳細については、「問題を修正」 (p. 35) を参照してください。
- ゲームモードをオン / オフ – ゲームモードを アクティブ / 非アクティブ に設定します。
- アップデート – すぐにアップデートを開始します。 アップデート状況を表示するウィンドウが新たに開きます。
- 基本設定 – ウィンドウを開くと、ユーザインターフェースモードが変更でき、製品の主な設定を有効/無効にすることができます。 詳細については、次を参照してください。「Basic 設定」 (p. 38) .

BitDefenderシステムトレイアイコンは、問題がお使いのコンピュータに影響を与えるとき、あるいは、製品がどのように動作するか、以下のような特別な記号でお知らせします：

- ⚠ 感嘆符付きの赤い三角：重大な問題がお使いのシステムのセキュリティに影響を与えています。至急、対応が求められており、修正する必要があります。
- 🔥 感嘆符付きの黄色い三角：お使いのシステムのセキュリティに影響する重大な問題はありません。お時間があるときに、それを確認して修正を行ってください。
- ⌚ 文字G：この製品は**ゲームモード**に設定されています。

BitDefenderが実行していない場合は、システムトレイのアイコンは、グレーで表示されます。● これは通常、ライセンスキーの期限切れの際に発生します。BitDefenderサービスが応答していない時や、別のエラーがBitDefenderの処理に影響を与えるときにも発生します。

2.4. スキャンアクティビティバー

スキャンアクティビティバーはシステムのスキャン処理をグラフにより視覚化したものです。 この小さなウィンドウは、デフォルトで、**上級者モード**にのみ有効です。

緑のバー（ファイル領域）は1秒間にスキャンしたファイルの数を0から50の範囲で表示します。ネット帯域に表示されるオレンジ色のバーは転送されたデータの秒あたりのキロバイト数（インターネットからの送受信）を0から100の範囲で表示します。



注意

スキャンアクティビティバーは、リアルタイム保護やファイアウォールが無効の時に対応する（ファイル領域またはネット領域）部分に赤いバツ印を表示してユーザに通知します。

2.4.1. ファイルとフォルダをスキャン

スキャンアクティビティバーを使ってファイルとフォルダをスキャンできます。スキャンしたいファイルまたはフォルダを、以下のようにスキャンアクティビティバーへドラッグ&ドロップします。



アンチウィルス スキヤン ウィザードは、スキヤン処理を通して表示されます。

スキヤン オプション。スキヤンオプションは事前に最高の検出結果を得るよう設定されています。感染ファイルを検知すると、BitDefenderは駆除（マルウェアのコードの除去）を試みます。駆除が失敗した場合には、アンチウィルススキヤンウィザードは、感染ファイルに対して他の処理を選択するよう指示します。スキヤンオプションは基本的なもので変更することはできません。

2.4.2. スキヤンアクティビティバーを無効/復元

グラフィカルなインターフェースを表示したくない場合は右クリックして隠すを選択してください。スキヤンアクティビティバーを復元するには次の手順を行います：

1. BitDefenderを開く。
2. ウィンドウの右上にある設定 ボタンをクリックしてください。
3. 一般設定で、スキヤンアクティビティバーに該当する、チェック欄を選択します。
4. OKをクリックして、変更を保存し、それを適用してください。

2.5. BitDefender手動スキヤン

BitDefender手動スキヤンでは、ハードディスクパーティション上の特定のフォルダを、新たにタスクを作成することなく実施できます。このモードはWindowsがセーフモードで動作している場合の使用を想定しています。もしシステムが強力なウィルスに感染している場合には、このウィルスをWindwosをセーフモードで起動して、各ハードディスクのパーティションからBitDefender手動スキヤンによって除去を試みてください。

BitDefender Internet Security 2010

BitDefender 手動スキャンにアクセスするには、Windows のスタートメニューから、スタート → プログラム → BitDefender 2010 → BitDefender 手動スキャンを選んでください。以下のウィンドウが開きます：



フォルダを追加をクリックして、スキャンしたい場所を選択して、OKをクリックします。複数のフォルダをスキャンしたい場合は、それぞれ追加した場所に、この処理を繰り返してください。

選択した場所のパスが、スキャン対象に表示されます。スキャンの対象を変更する場合には、削除ボタンをクリックします。全てのパスを削除ボタンをクリックすると、リストに追加された全ての保存場所を削除します。

保存場所を選択すると、継続をクリックします。アンチウィルス スキャン ウィザードは、スキャン処理を通して表示されます。

スキャンオプション。スキャンオプションは事前に最高の検出結果を得るよう設定されています。感染ファイルを検知すると、BitDefenderは駆除（マルウェアのコードの除去）を試みます。駆除が失敗した場合には、アンチウィルススキャンウィザードは、感染ファイルに対して他の処理を選択するよう指示します。スキャンオプションは基本的なもので変更することはできません。

セーフモードとは？

セーフモードは特殊なWindowsの起動方法です。主に通常のWindowsの動作に影響する問題の解決のために使われます。その問題にはドライバーの衝突から、ウィルス

によってWindwosが通常に起動できないなどさまざまのものがあります。セーフモードでは、Windowsは必要最小限のOSコンポーネントとドライバしかロードしません。セーフモードではわずかなアプリケーションしか動作しません。このためセーフモードのWindowsではほとんどのウィルスが活動できず、よって除去もしやすくなります。

Windwosをセーフモードで動作させるには、再起動してF8 キーを押し続け Windows Advanced Options Menu を表示させます。セーフモードで起動できるオプションから選択することができます。セーフモード（ネットワーク）を選ぶことでインターネットへのアクセスが可能です。



注意

セーフモードについてより詳細はWindowsのヘルプとサポートセンターにアクセスします（スタートメニューからヘルプとサポート）をクリックします。インターネットを検索することで役に立つ情報をみつけることができます。

2.6. ゲームモードとノートPCモード

ゲームやプレゼンテーション等、いくつかのコンピュータ活動は、システムのレスポンスやパフォーマンスの向上が必要で、割り込みができません。お使いのノートPCがバッテリー充電で実行されていると、追加充電を不要とする状態は、ノートPCがA/C 充電に戻って接続されるまで、継続されます。

このような特別な状況に適応するために、BitDefender Internet Security 2010 は次のような2つのオペレーションモードがあります：

- ゲームモード
- ノートPCモード

2.6.1. ゲームモード

ゲームモードは一時的に保護設定を変更してシステムパフォーマンスに与える影響を最小限にします。ゲームモードをオンにすると次の設定が適用されます：

- プロセッサの消費とメモリ消費を最小に
- 自動アップデートとスキヤンを延期
- 全ての警告とポップアップを抑制
- 重要なファイルのみスキヤン

ゲームモードがオンのときにはGという文字がBitDefenderアイコンの上に表示されます。

ゲームモードを使用

デフォルトではBitDefenderは、BitDefenderが持っている主要ゲームリストにあるゲームを起動した場合、またはアプリケーションがフルスクリーンになった場合に自動的ゲームモードに移行します。 BitDefender は、ゲーム終了時、又は検出されたアプリケーションがフルスクリーンを終了するとき、自動的に通常処理モードに戻ります。

ゲームモードを手動で有効にしたい場合は、以下のいずれかの方法を使用してください：

- システムトレイのBitDefenderアイコンを右クリックし、ゲームモードをオンにするを選択します。
- Ctrl+Shift+Alt+Gキー（デフォルトのホットキー）を押します。



重要項目

ゲームが終わったらゲームモードをオフにしてください。ゲームモードをオンにするのと同じやり方でオフにできます。

ゲームモードのホットキーを変更

ホットキーを変更するには次の手順で行ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側のメニューからゲーム／ノートPCモードをクリックします。
3. ゲームモードタブをクリックします。
4. 詳細設定ボタンをクリックします。
5. ホットキーを有効オプションから希望するホットキーを選択してください。

●使用するキーは次の中から希望するものにチェックします：Control キー(Ctrl)、Shift キー(Shift)、Alternate キー(Alt)

●入力欄に使用したい文字キーに対応する文字を入力します。

例えばCtrl+Alt+Dホットキーを使用するには、Ctrl、Altにチェックして、Dを入力します。



注意

ホットキーを使うのチェックを外すことでホットキーを無効にすることができます。

6. OKをクリックして変更を保存します。

2.6.2. ノートPCモード

ノートPCモードはノートパソコンユーザー用に特別に設計されたモードです。目的はパソコンがバッテリーで動作している際に、BitDefenderが消費電力に与える影響を最小限にすることです。ノートPCモード中は、スケジュールされたスキャンタスクは実行されません。なぜならば、より多くのシステムリソースを要求するので、電力消費が暗黙的に増加するからです。

BitDefenderがノートパソコンがバッテリーに切り替わったことを検知すると、自動的にノートPCモードに移行します。同様にBitDefenderは、ノートパソコンがバッテリーから通常電源に戻ったことを検知すると、ノートPCモードを終了します。

ノートPCモードを使用するには、この**設定 ウィザード**で、ノートPCを使用していることを指定してください。 ウィザードの実行中に、適したオプションを選択しなかった場合は、以下に従い、ノートPCモードを後で有効にすることができます：

1. BitDefenderを開く。
2. ウィンドウの右上にある**設定** ボタンをクリックしてください。
3. 一般設定で、ノートPCモード検出に該当するチェック欄を選択します。
4. OKをクリックして、変更を保存し、それを適用してください。

2.7. 自動検出装置

BitDefenderは、取り外し可能なストレージデバイスをお使いのコンピュータに接続すると、自動的にそれを検出して、ファイルにアクセスする前にスキャンを行います。これは、お使いのコンピュータを、ウィルスや他のマルウェアの感染から保護するため、推奨されます。

検出されたデバイスは、これらのカテゴリの1つに該当します：

- CDs/DVDs
- USBストレージデバイス、フラッシュペンや外付けハードドライブ等
- マップされた(リモート) ネットワークドライブ

デバイスが検出されると、警告ウィンドウが表示されます。



ストレージデバイスをスキャンするには、”はい”をクリックしてください。アンチウィルス スキャン ウィザードは、スキャン処理を通して表示されます。

デバイスをスキャンしたくない場合は、スキャンしないをクリックしてください。この場合、次のオプションから適するものを選択してください：

- 今後この形式のデバイスに関して表示しない - 今後BitDefenderは、お使いのコンピュータに接続時、この形式のストレージデバイスをスキャンしません。
- 自動デバイス検出を無効にする - 新しいストレージデバイスがコンピュータに接続された時、スキャンを行いません。

誤って無効にしてしまった自動デバイス検知を有効にするには、またその構成を設定するには次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. アンチウィルス>ウィルススキャンへ進む。
3. スキャンタスクのリスト内で、このデバイス検出をスキャンタスクを探します。
4. タスクを右クリックして、開くを選択します。新しいウィンドウが開きます。
5. 概要タブで、必要に応じてスキャンオプションを設定します。
6. 検索タブで、どの形式の記憶デバイスを検出するかを選択します。
7. OKをクリックして、変更を保存し、それを適用してください。

3. 問題を修正

BitDefenderは、問題追跡システムを使用して、お使いのコンピュータやデータのセキュリティに影響を与えていたりかもしれない問題に関して、検出及び通知を行います。デフォルトで、大変重要な問題のみを監視します。また一方で、必要に応じて、どの問題を通知するかを選択することが可能です。

このようにして未解決の問題が通知されます：

- 特別な記号は、**システムトレイ**内のBitDefenderアイコン上に表示されて、未解決の問題をお知らせします。

● 感嘆符付きの赤い三角：重大な問題がお使いのシステムのセキュリティに影響を与えています。至急、対応が求められており、修正する必要があります。

● 感嘆符付きの黄色い三角：お使いのシステムのセキュリティに影響する重大な問題はありません。お時間があるときに、それを確認して修正を行ってください。

また、アイコン上でマウスカーソルを移動すると、ポップアップ画面で、未解決の問題を表示します。

- BitDefenderを開くと、セキュリティステータスがお使いのシステムに影響を与える問題の数を表示します。

▶ 中級者モードで、セキュリティステータスがダッシュボードタブに表示されます。

▶ 上級者モードの、一般設定>ダッシュボードへ進み、セキュリティステータスを確認します。

3.1. 全ての問題を修正するウィザード

既存の問題を修正する最も簡単な方法は、段階的に全ての問題を修復する ウィザードに従います。 ウィザードで、お使いのコンピュータのあらゆる脅威を簡単に削除し、データセキュリティの手助けをします。 ウィザードを開いて、次のいずれかを実行してください：

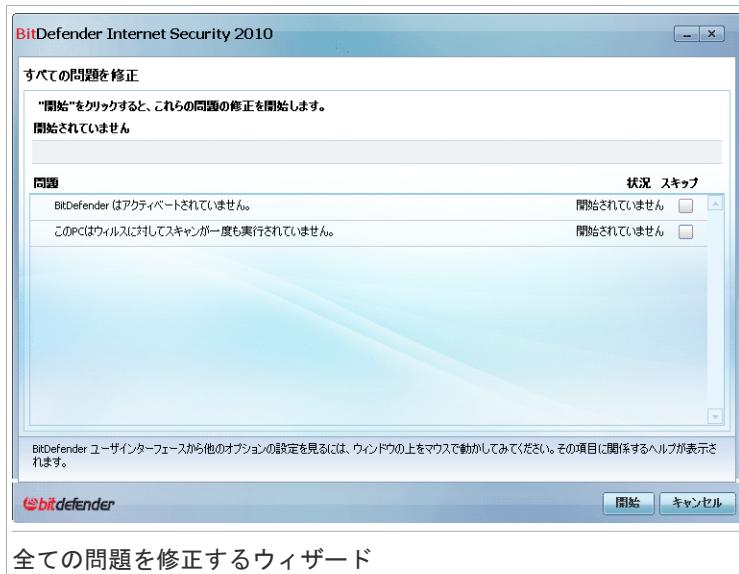
- 右クリックします。これは**システムトレイ**内のBitDefenderアイコンです。そして全ての問題を修正するを選択します。

- BitDefenderを開く。 ユーザインターフェースモードに応じて、次の処理を行ってください：

▶ 初級者モードでは、全ての問題を修復をクリックしてください。

▶ 中級者モードで、ダッシュボードタブに進み、全ての問題を修復するをクリックしてください。

- ▶ 上級者モードの、一般設定>ダッシュボードへ進み、全ての問題を修復するをクリックしてください。



このウィザードは、お使いのコンピュータに既存するセキュリティの脆弱性の一覧を表示します。

全ての現在の問題が選択されて修正されました。修正したくない問題がある場合は、該当するチェック欄を選択してください。そうすると、その状態はスキップに変更になります。



注意

特定の問題に関して通知されたくない場合は、次の項で記載されている通りに従って、追跡システムを設定してください。

選択された問題を修正するには、開始をクリックします。いくつかの問題が直ぐに修正されます。その他の問題は、ウィザードに従って修正してください。

このウィザードに従って修正する問題は、主に次のカテゴリに分類することができます。

- セキュリティ設定を無効にする。このような問題は、それぞれのセキュリティ設定を有効にして、直ちに修正されます。
- 実行する必要がある予防手段のセキュリティタスク。この場合のタスク例は、お使いのコンピュータのスキャンです。少なくとも週に1回はコンピュータをスキャ

ンすることをお勧めします。BitDefenderは、ほとんどの場合に自動的にスキャンを行いますが、スキャンスケジュールを変更したり、あるいはスケジュール設定が完了していないと、この問題に関して通知されます。

このような問題が修正されると、問題なくこのタスクを終了するようにウィザードが導きます。

- システムの脆弱性。 BitDefenderは、お使いのシステムの脆弱性を自動的に確認をして、警告を行います。以下を含むシステムの脆弱性：

- ▶ Windowsユーザーアカウントに対する弱いパスワード
- ▶ お使いのコンピュータの期限切れのソフトウェア
- ▶ Windowsアップデートが行われていません
- ▶ Windows自動アップデートは無効です

このような問題が修正されると、脆弱性スキャンウィザードが開始します。このウィザードは、検出されたシステムの脆弱性の修復を手助けします。

3.2 問題の監視を設定

問題追跡システムは、監視するために事前に設定されていて、お使いのコンピュータやデータのセキュリティに影響を与える最も重要な問題に関して警告します。追加の問題は **設定ウィザード** 内で行った選択に基づいて監視されます。(使用プロファイルの設定時)。デフォルトで監視された問題の他に、通知されるいくつかの問題があります。

どの問題を通知するかの選択次第で、セキュリティに最も必要な追跡システムを設定することができます、これは中級者モード、または上級者モードのいずれかで設定することができます。

- 中級者モードで、追跡システムは別の場所から設定することができます。次の手順に従ってください：

1. セキュリティ、ペアレンタル あるいは ファイル金庫タブを選択してください。
2. ステータスの追跡を設定をクリックしてください。
3. 監視されたい項目に該当するチェック欄を選択します。

- 上級者モードでは、追跡システムは中心地から設定することができます。次の手順に従ってください：

1. 一般情報>ダッシュボードへ進む。
2. ステータスの追跡を設定をクリックしてください。
3. 監視されたい項目に該当するチェック欄を選択します。

詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考にしてください。

4. Basic 設定

基本設定ウィンドウから、製品の主要な設定を行います。（ユーザインターフェース設定モードの変更を含む）それを開くには、以下のいずれかを行ってください：

- BitDefenderを開いて画面右上にある 設定ボタンをクリックしてください。
- ● を右クリックします。これは システムトレイ 内のBitDefenderアイコンです。
そして基本設定を選択します。



注意

詳細の設定を行うには、上級者モードのインターフェースを使用してください。 詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考にしてください。

The screenshot shows the 'BitDefender' basic settings window. It has tabs for 'User Interface Settings' and 'Security Settings'. Under 'Security Settings', there are sections for Antivirus, Anti-Spyware, IM Encryption, Firewall, and General. Under 'General', there are sections for Game Mode, Settings Password, Product Alert, and Virus Report. Buttons at the bottom include 'Apply', 'OK', and 'Cancel'.

基本設定

設定項目は3つの項に分類されます：

- ユーザインターフェースの設定
- セキュリティ設定
- 一般的な設定

設定変更を有効にして、保存するには、OKをクリックします。変更の保存をしないでウィンドウを閉じるには、キャンセルをクリックします。

4.1. ユーザインターフェイス設定

この領域では、ユーザインターフェース画面を切り替えて、使用プロファイルを再設定することができます。

ユーザインターフェース設定モードを切り替えます。. 「**ユーザインターフェース設定モード**」 (p. 19) 内に保存されているように、ユーザインターフェースには3つの形式があります。それぞれのユーザインターフェースモードは、ユーザのコンピュータスキルに基づき、明確なユーザのカテゴリに対して設計されています。このように、ユーザインターフェースは、コンピュータの初級者から、上級者まであらゆるユーザに対応します。

最初のボタンは、現在のユーザインターフェース設定を表示します。ユーザインターフェースモードを変更するには、■にある矢印をクリックして、メニューから対象のモードを選択します。

| モード | 解説 |
|--------|--|
| 初級者モード | <p>コンピュータの初心者及び、簡単な設定でBitDefenderがコンピュータとデータを保護してほしいユーザに適しています。このモードは、使い方が簡単で、最小限のやり取りで設定が可能です。</p> <p>お客様に行っていただくことは、BitDefenderが表示した既存の問題を修復するだけです。使いやすく段階を追った手順のウィザードが、問題修復の手助けをします。さらに、BitDefender ウィルスシグネチャ、製品ファイル、またはコンピュータのスキャンのアップデート等、共通のタスクを実行することができます。</p> |
| 中級者モード | <p>コンピュータスキルが標準なユーザに適しています。このモードは、初級者モードで出来る内容を拡張しています。</p> <p>問題を別々に修復することが出来、どの問題を監視するかを選択します。さらには、リモートから、ご自宅のコンピュータにインストールされている BitDefender 製品を管理することができます。</p> |
| 上級者モード | <p>このモードは、上級者ユーザに適しており、BitDefenderの各機能を全面的に設定することができます。また、お使いのコンピュータやデータを保護するため、提供されている全てのタスクを使用することができます。</p> |

使用プロファイルを再設定する。. 使用プロファイルは、コンピュータで実行された主な処理を示します。ユーザプロファイルに応じて、製品インターフェースは、希望するタスクへ簡単にアクセスすることができるよう構成されています。

使用プロファイルを再設定するには、使用プロファイルを再設定するをクリックして、設定ウィザードに従ってください。

4.2. セキュリティ設定

ここで、コンピュータの多様な側面やデータセキュリティを保護する製品の設定を有効又は無効にすることができます。現在の設定状況は、次のアイコンのいずれかを使用して表示されています：

- チェックマーク付きの緑色の丸：設定は有効です。
- 感嘆符付きの赤い丸：設定は無効です。

設定を有効又は無効にするには、該当する有効にする チェックボックスを選択又はクリアにします。



警告

リアルタイムアンチウィルスプロテクション、ファイアウォール、自動アップデートを無効にすることは注意して行ってください。これらの機能を無効にすることはコンピュータのセキュリティを危険にするかもしれません。本当に無効にする必要がある場合は、できるだけはやく有効にするようにしてください。

設定とその詳細の全リストは、次の表に記載されています：

| 設定 | 解説 |
|----------|---|
| アンチウィルス | リアルタイムプロテクションは、お客様がアクセスするファイル、あるいはこのシステム上で実行しているアプリケーションの全てのファイルをスキャンします。 |
| 自動アップデート | 自動アップデートは基本機能として、最新の BitDefender 製品とシグネチャファイルを、自動的にダウンロードしインストールします。 |
| 脆弱性を確認 | 自動脆弱性チェックはあなたのPCの上の重要なソフトウェアが確実に最新になるようにします。 |
| アンチスパム | アンチスパムは、受信した電子メッセージをフィルタして、未承諾メールや迷惑メールをスパムとしてマークします。 |

| 設定 | 解説 |
|----------------|--|
| アンチフィッシング | アンチフィッシングは、あるページが個人情報を盗もうとしていることをリアルタイムに検知して警告します。 |
| 個人情報コントロール | 個人情報コントロールは、ユーザの確認なしに、インターネット上で個人情報を送信することを妨げます。ユーザが定義した許可しない受信者（アドレス）から情報を保護するために、インスタントメッセージ、電子メールメッセージ、又はウェブ形式のデータをブロックします。 |
| インスタントメッセージ暗号化 | IM(インスタントメッセージ) 暗号化は、IMの相手先が BitDefender製品とIMソフトウェアに互換性があるという条件で、Yahoo! メッセンジャーやWindows Live Messenger 経由のユーザの会話を保護します。 |
| ペアルンタルコントロール | ペアルンタルコントロールは、お客様が定義したルールに基づいて、お子様のコンピュータ及びオンライン活動を制限します。各種制限には、不適切なウェブサイトのブロックの他に、指定したスケジュールに従ったゲームやインターネットのアクセス制限を含んでいます。 |
| ファイアウォール | ファイアウォールはお使いのコンピューターをハッカー や悪意のある外部からの攻撃から守ります |
| ファイル暗号化 | ファイル金庫はドキュメントを、暗号化して、特別な保管ドライブに保持することで隠遁します。ファイル金庫を無効にすると、全ての金庫のファイルがロックされるため、その金庫にあるファイルにアクセスすることができなくなります。 |

これらの設定のステータスの中には、BitDefenderが問題を追跡するシステムによって監視されるものもあります。監視される設定が無効の場合は、BitDefenderは、修正が必要な問題として表示します。

問題として表示しない設定を監視されたくない場合は、それに応じて追跡システムを設定しなければなりません。その設定は中級者モード、又は上級者モードで行うことができます。

- 中級者モードで、追跡システムは設定カテゴリに基づいて、離れた場所から設定することができます。

- 上級者モードでは、追跡システムは中心地から設定することができます。次の手順に従ってください：

1. 一般情報>ダッシュボードへ進む。
2. ステータスの追跡を設定をクリックしてください。
3. 監視されたくない項目に該当するチェック欄を削除します。

詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考にしてください。

4. 3. 全体設定

ここでは、製品ビヘイビアやユーザ体験に影響する設定を有効/無効にできます。設定を有効又は無効にするには、該当する有効にする チェックボックスを選択又はクリアにします。

設定とその詳細の全リストは、次の表に記載されています：

| 設定 | 解説 |
|------------------|--|
| ゲームモード | ゲームモードはゲームの処理への影響を最小限にするよう保護設定を一時的に変更します。 |
| ノートPCモードを検出 | ノートPCモードはバッテリ消費への影響を最小限にするよう保護設定を一時的に変更します。 |
| パスワード設定 | パスワードを知っている人だけが設定変更ができるようになります。 このオプションを有効にすると、パスワードの設定が求められます。 両方の該当欄にパスワードを入力して、OKをクリックして、パスワードを設定します。 |
| BitDefender News | このオプションを有効にするとBitDefenderからの重要なご案内、新製品のご案内、セキュリティに関する情報を受け取ることができます。 |
| 製品通知アラート | このオプションを有効にすると製品通知アラートを受け取ることができます。 |
| スキャンアクティビティバー | スキャンアクティビティバーは小さく、透過的なウィンドウでBitDefenderのスキャン進行状況を示しています。 詳細については「 スキャンアクティビティバー (p. 28) を参照してください。 |
| ウィルス報告を送る | このオプションを有効にすると、BitDefender研究所にウィルススキャンレポートを送信します。このレポートには、氏名・IPアドレスなど個人を特定するような |

| 設定 | 解説 |
|---------|---|
| 爆発的発生検出 | 重要な情報は含まれておりません。送信元のIPアドレスは、純粋に統計目的だけに利用されます。 |

5. 履歴とイベント

BitDefender メインウィンドウの下にあるログを表示リンクは、BitDefender の履歴&イベントを表示する別のウィンドウを開きます。このウィンドウにはセキュリティ関連のイベントの概要が表示されます。例えばアップデートが正常に完了したか、お使いのコンピュータでマルウェアが見つかったか、バックアップタスクでエラーがなかったかなどを簡単に確認できます。



注意

このリンク先は中級者モードか上級者モードでのみ接続することが可能です。

The screenshot shows the BitDefender History & Events window. On the left, a sidebar lists categories: Anti-virus, Anti-spyware, Peer-to-peer Control, Firewall, Privacy, IM Blocking, File Quarantine, Games/Notebook Mode, Home Network, Updates, Product Registration, and Internet Log. The main area displays two tables:

| リアルタイムプロテクション | | |
|--------------------|-----------------|-----------------------|
| アクション名 | 実行されたアクション | 日付 |
| リアルタイムプロテクション | 有効 | 8/20/2009 12:48:40 PM |
| リアルタイムプロテクション | 無効 | 8/20/2009 12:47:35 PM |
| リアルタイムプロテクション | 有効 | 8/20/2009 12:42:37 PM |
| リアルタイムプロテクション | 無効 | 8/20/2009 12:42:35 PM |
| ビヘイビア(ふるまい)スキャン... | アプリケーションは終了さ... | 8/20/2009 12:42:27 PM |

| オンデマンドタスク | | |
|--------------------|------------|-----------------------|
| アクション名 | タスク名: | 日付 |
| スキャンタスクが正常に完了... | 4746 | 8/20/2009 12:48:02 PM |
| スキャンタスクがユーザーによっ... | 完全システムスキャン | 8/20/2009 12:45:35 PM |
| スキャンタスクがユーザーによっ... | 完全システムスキャン | 8/20/2009 12:44:53 PM |

At the bottom, there is a message: "BitDefender ユーザインターフェースから他のオプションの設定を見るには、ウィンドウの上をマウスで動かしてみてください。その項目に関するヘルプが表示されます。". Buttons at the bottom include "bitdefender", "全てのログを削除する", "更新", and "OK".

イベント

BitDefenderの履歴&イベントの表示内容を絞り込むために左側に次のカテゴリが用意されています：

- アンチウィルス
- アンチスパム
- ペアレンタルコントロール
- 個人情報コントロール

- ファイアウォール
- 脆弱性
- IM暗号化
- ファイル暗号化
- ゲーム/ノートPCモード
- ホームネットワーク
- アップデート
- 登録
- インターネットログ

各カテゴリにイベント一覧が用意されています。各イベントには次の情報が表示されます：簡単な説明、それが発生した際にBitDefenderが実行したアクション、発生した日時、です。一覧内の特定のイベントの詳細情報を表示するには、イベントをダブルクリックしてください。

古いログを削除するには全てのログを削除をクリックしてください。最新のログを表示するには、更新をクリックしてください。

6. 登録とマイアカウント

BitDefender Internet Security 2010 には 30 日間の試用期間が設けられています。 試用期間中、製品はすべての機能が動作しますので、要望にあうものであるかテストしてください。 評価から 15 日間経過すると、BitDefender アカウントを作成しないかぎりアップデートが行われません。 BitDefender アカウントの作成は登録に必須です。

試用期間が終了する前に製品を登録してコンピュータを保護するようにしてください。 登録は 2 つの手順でおこないます：

1. 製品のアクティベーション (BitDefender アカウントの登録) . BitDefender アカウントは、アップデートやテクニカルサポートへの連絡に必要なものです、すでに BitDefender アカウントをお持ちの場合は、そのアカウントに対して登録してください。 BitDefender はアクティベートが必要なことと、問題解決に役立つことをお知らせします。



重要項目

BitDefender をインストールして 15 日以内に BitDefender アカウントを作成してください。（ライセンスキーを登録した場合、BitDefender アカウントの作成期限は 30 日まで延長されます。）登録がない場合には BitDefender は更新されなくなります。

2. ライセンスキーを登録。 ライセンスキーはその製品をどのぐらい使い続けることができるかを示しています。 ライセンスキーが期限切れを迎えると、BitDefender はその機能を停止してコンピュータが保護されなくなります。 試用期間終了時にライセンスキーで製品を登録しなければなりません。 ライセンスキーを購入するか、お使いのライセンスを期限がきれる数日前には新しくする必要があります。

6.1. BitDefender Internet Security 2010を登録

ライセンスキーで製品を登録、または現在のライセンスキーを変更したい場合は、BitDefender ウィンドウの下にある今すぐ登録するをクリックしてください。 製品登録ウィンドウが表示されます。



製品登録

BitDefender 登録状況では、お使いのライセンスキーが切れるまでの残日数を確認することができます。

BitDefender Internet Security 2010を登録:

1. ライセンスキーを入力します。



注意

ライセンスキーは以下に記載されています :

- CDラベル
- 製品登録カード
- オンラインストアからのメール

BitDefenderライセンスをお持ちでない場合はオンラインストアか代理店からライセンスキーをご購入ください。

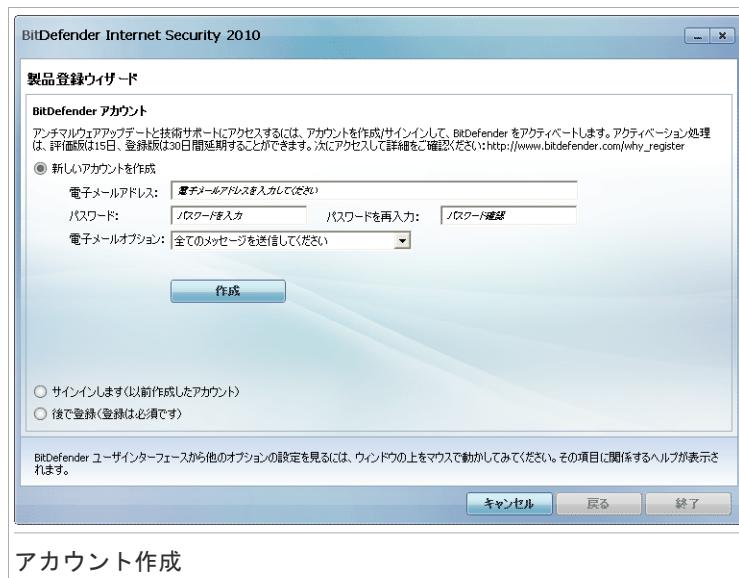
2. 今すぐ登録するをクリックします。
3. 終了をクリックします。

6.2. BitDefenderをアクティベート

BitDefenderをアクティベートするには、BitDefenderアカウントを作成してサインインする必要があります。最初の登録ウィザードでBitDefenderアカウントを登録していない場合は、以下に従って登録することができます：

- 初級者モードでは、全ての問題を修復をクリックしてください。このウィザードは、製品のアクティベートを含めて、全ての未解決の問題を修正する手助けをします。
- 中級者モードで、セキュリティタブで、製品のアクティベーションに関する問題の修正ボタンをクリックしてください。
- 上級者モードの、登録へ進み、製品のアクティベートボタンをクリックしてください。

アカウント登録ウィンドウが開きます。ここで製品をアクティベートするBitDefenderアカウントを作成、サインインすることができます。



もし、いまBitDefenderアカウントを作成されない場合には、後で登録を選択し、終了をクリックしてください。それ以外の場合は、このまま進めます：

- 「まだBitDefenderアカウントをお持ちでない場合」 (p. 49)
- 「既にBitDefenderアカウントを持っている場合」 (p. 49)



重要項目

BitDefenderをインストールして15日以内にBitDefenderアカウントを作成してください。（ライセンスキーを登録した場合、BitDefenderアカウントの作成期限は30日まで延長されます。）登録がない場合にはBitDefenderは更新されなくなります。

まだBitDefenderアカウントをお持ちでない場合

正しくBitDefenderアカウントを作成するには、次の手順に従ってください：

1. 新しいアカウントを作成するを選択します。
2. 該当する欄に必要な情報を入力してください。入力いただいたデータの機密は守られます。
 - 電子メール - お使いの電子メールアドレスをご入力ください。
 - パスワード - 上で指定したユーザの有効なパスワードを入力してください。パスワードは6文字から16文字の間である必要があります。
 - パスワードを再入力 - 入力したパスワードを再度入力してください。



注意

アカウントが有効になると、入力した電子メールアドレスとパスワードを使用し、<http://myaccount.bitdefender.com>からアカウントにログインしてください。

3. BitDefenderは製品の特別価格での販売のご案内やプロモーションを、アカウントとして登録していただいたお客様のメールアドレスに送信することができます。メニューから有効なオプションを選択してください：
 - 全てのメッセージを受信
 - 製品に関するメッセージだけを受信
 - 全てのメッセージを受け取らない
4. 作成をクリックしてください。
5. 終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。
6. アカウントを有効にする：アカウントを利用する前に、それを有効にする必要があります。メールをチェックして、BitDefender登録サービスから送られたメールに書かれている案内に従ってください。

既にBitDefenderアカウントを持っている場合

お客様が既にBitDefenderアカウントを登録されていれば、BitDefenderは自動でそのアカウントを検出します。この場合、お客様のアカウントのパスワードを入力して、サインインをクリックしてください。終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。

有効なアカウントを持っていて、BitDefenderがそれを検出しない場合は、そのアカウントで製品を登録するために次の手順に従ってください。

1. サインイン（以前に作成されたアカウント）を選択してください。
2. 該当欄にお使いのアカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力してください。



注意

パスワードを忘れた場合は、パスワードを忘れたら？をクリックし指示に従ってください。

3. BitDefenderは製品の特別価格での販売のご案内やプロモーションを、アカウントとして登録していただいたお客様のメールアドレスに送信することができます。メニューから有効なオプションを選択してください：
 - 全てのメッセージを受信
 - 製品に関するメッセージだけを受信
 - 全てのメッセージを受け取らない
4. サインインをクリックしてください。
5. 終了をクリックして、ウィザードを閉じてください。

6. 3. ライセンスキーの購入

試用期間は、間もなく終了となります。ライセンスキーを購入して製品登録を行ってください。BitDefenderを開いて画面下にある購入/更新リンクをクリックしてください。このリンクで開かれるウェブページでお使いのBitDefender製品のライセンスキーを購入することができます。

6. 4. ライセンスを更新する

BitDefenderをお使いのユーザは、BitDefender製品のライセンス更新時に優待を受けることができます。また製品の最新版へ特別な割引、または無料でアップグレードすることができます。

ライセンスキーが期限切れを迎えるようとしています。ライセンスを更新してください。BitDefenderを開いて画面下にある購入/更新リンクをクリックしてください。このリンクで開かれるウェブページでライセンスを更新することができます。

7. 方法

この章では、BitDefenderによって提供された最も共通するタスクの実行方法を記載しています。

- 「ファイルとフォルダのスキャン方法」 (p. 51)
- 「コンピュータスキャンをスケジュールする方法」 (p. 55)

7.1. ファイルとフォルダのスキャン方法

BitDefenderのスキャンは容易にかつ柔軟に行えます。 ウィルスや他のマルウェアに対してBitDefenderは4つの方法でファイルやフォルダをスキャンできます：

- Windowsのコンテキストメニューを使う
- スキャンタスクを使う
- BitDefenderの手動スキャンを使う
- スキャンアクティビティバーを使う

スキャンをはじめると、アンチウィルススキャンウィザードが表示され、スキャン処理をガイドします。

7.1.1. Windowsコンテキストメニューを使う

これはもっとも簡単にコンピューター上のファイルやフォルダをスキャンできるお勧めの方法です。 スキャンしたいオブジェクトを右クリックしてBitDefenderでスキャン をメニューから選びます。 アンチウィルススキャンウィザードに従ってスキャンを完了します。

このスキャン方式は次の場合に使うことができます：

- あるファイル、フォルダが感染しているのではないかと疑われる場合。
- インターネットからダウンロードしたファイルで危険だと疑われる場合。
- コンピュータにコピーする前にネットワーク共有フォルダをスキャンする場合。

7.1.2. スキャンタスクを使う

コンピュータまたは特定のフォルダを定期的にスキャンしたい場合には、スキャンタスクを使用します。 スキャンタスクはBitDefenderにどの場所をスキャンするか、どのオプションで行うか、どの処理を行いうかを指示するものです。 さらにスケジュール することで定期的にまた特定の時間で実行させることができます。

スキャンタスクを使ってコンピュータをスキャンするには、BitDefenderを開いて、希望するスキャンタスクを実行します。ユーザインターフェースの設定ごとに、スキャンタスクを実行する手順が異なります。

初級者モードでスキャンタスクを実行する

初級者モードでは、今すぐスキャンをクリックすると、コンピュータ全体に標準レベルのスキャンを実行できます。アンチウィルススキャンウィザードに従ってスキャンを完了します。

中級者モードでスキャンタスクを実行する

中級者モードで、事前に設定した複数のスキャンタスクを実行することができます。カスタムスキャンタスクを設定及び実行し、カスタムスキャンオプションを使用して、お使いのコンピュータ上で、指定した場所をスキャンします。中級者モードでのスキャンタスクの実行手順：

1. セキュリティタブをクリックします。
2. クイックタスクの左側で、システムスキャンをクリックして、コンピュータ全体を標準レベルでスキャンを開始します。別のスキャンタスクを実行するには、 にある矢印をクリックして、対象のスキャンタスクを選択します。カスタムスキャンの設定及び実行は、カスタムスキャンをクリックしてください。利用可能なスキャンタスク：

| スキャンタスク | 解説 |
|--------------|---|
| システムスキャン | アーカイブを除くシステム全体をスキャンします。デフォルト設定では、ルートキット以外の全てのマルウェアの種類をスキャンします。 |
| 完全システムスキャン | システム全体をスキャンします。デフォルトの設定では、ウィルス、スパイウェア、アドウェア、ルートキットなどシステムのセキュリティを脅かすあらゆる種類のマルウェアをスキャンします。 |
| マイドキュメントスキャン | 現在のユーザの重要なフォルダをスキャンする場合にはこのタスクを使用します：マイドキュメント、デスクトップ、スタートアップ。これにより文書、作業環境、起動されるアプリケーションの安全を確認することができます。 |
| カスタムスキャン | このオプションは、カスタムスキャンタスクの設定と実行が可能です。スキャンの内容、標準のスキャンオプションの指定をすることができます。カス |

| スキャンタスク | 解説 |
|---------|---|
| | タムスキャンタスクを保存することができ、後に中級者モードや上級者モードでそこにアクセスすることができます。 |

3. アンチウィルススキャンウィザードに従ってスキャンを完了します。 カスタムスキャンの実行を選択すると、代わりにカスタムスキャンウィザードを全て行う必要があります。

上級者モードでスキャンタスクを実行する

上級者モードでは、事前定義されたすべてのスキャンタスクを実行でき、そのスキャンオプションの変更もできます。また、コンピューター上の特定の場所をスキャンするカスタマイズされたスキャンタスクを作成することができます。 上級者モードでのスキャンタスクの実行手順：

1. 左メニューにあるアンチウィルスをクリックします。
2. ウィルススキャン タブをクリックします。 デフォルトのスキャンタスクを確認できます。また独自のスキャンタスクを作成することもできます。 利用できるデフォルトのスキャンタスク：

| デフォルトタスク | 解説 |
|--------------|---|
| 完全システムスキャン | システム全体をスキャンします。 デフォルトの設定では、ウィルス、スパイウェア、アドウェア、ルートキットなどシステムのセキュリティを脅かすあらゆる種類のマルウェアをスキャンします。 |
| システムスキャン | アーカイブを除くシステム全体をスキャンします。 デフォルト設定では、ルートキット以外の全てのマルウェアの種類をスキャンします。 |
| クイックシステムスキャン | Windows と Program Files のフォルダをスキャンする。 デフォルトの設定ではRootkit以外のすべての種類のマルウェアを対象にスキャンしますが、メモリ、レジストリ、Cookieはスキャンしません。 |
| マイドキュメント | 現在のユーザの重要なフォルダをスキャンする場合にはこのタスクを使用します： マイドキュメント、デスクトップ、スタートアップ。これにより文書、作業環境、起動されるアプリケーションの安全を確認することができます。 |

3. 実行したいスキャンタスクをダブルクリックします。
4. アンチウィルススキャンウィザードに従ってスキャンを完了します。

7.1.3. BitDefender手動スキャンを使う

BitDefender手動スキャンでは、ハードディスクパーティション上の特定のフォルダを、新たにタスクを作成することなく実施できます。このモードはWindowsがセーフモードで動作している場合の使用を想定しています。もしシステムが強力なウィルスに感染している場合には、このウィルスをWindwosをセーフモードで起動して、各ハードディスクのパーティションからBitDefender手動スキャンによって除去を試みてください。

BitDefender手動スキャンを使ってコンピュータをスキャンするには次の手順を行います：

1. On the  Windowsのスタートメニューから、スタート → すべてのプログラム → BitDefender 2010 → BitDefender手動スキャン. 新しいウィンドウが開きます。
2. フォルダを追加をクリックして、スキャン対象を選択してください。新しいウィンドウが開きます。
3. スキャン対象を選択します：
 - デスクトップをスキャンするには デスクトップを選択します。
 - ハードディスクのパーティション全体をスキャンするには、マイコンピュータからそれを選択します。
 - 特定のフォルダをスキャンするには、フォルダを辿り、該当するフォルダを選択します。
4. OKをクリックします。
5. 繼続をクリックして、スキャンを開始します。
6. アンチウィルススキャンウィザードに従ってスキャンを完了します。

セーフモードとは？

セーフモードは特殊なWindowsの起動方法です。主に通常のWindowsの動作に影響する問題の解決のために使われます。その問題にはドライバーの衝突から、ウィルスによってWindwosが通常に起動できないなどさまざまのものがあります。セーフモードでは、Windowsは必要最小限のOSコンポーネントとドライバしかロードしません。セーフモードではわずかなアプリケーションしか動作しません。このためセーフモードのWindowsではほとんどのウィルスが活動できず、よって除去もしやすくなります。

Windwosをセーフモードで動作させるには、再起動してF8 キーを押し続け Windows Advanced Options Menu を表示させます。セーフモードで起動できるオプションか

ら選択することができます。セーフモード（ネットワーク）を選ぶことでインターネットへのアクセスが可能です。



注意

セーフモードについてより詳細はWindowsのヘルプとサポートセンターにアクセスします（スタートメニューからヘルプとサポート）をクリックします。インターネットを検索することで役に立つ情報をみつけることができます。

7.1.4. スキャンアクティビティバーを使う

スキャンアクティビティバーはシステムのスキャン処理をグラフにより視覚化したものです。この小さなウィンドウは、デフォルトで、**上級者モード**にのみ有効です。

スキャンアクティビティバーを使ってファイルとフォルダをスキャンできます。スキャンしたいファイルやフォルダをスキャンアクティビティバーにドラッグ & ドロップします。アンチウィルススキャンウィザードに従ってスキャンを完了します。



注意

詳細については「[スキャンアクティビティバー](#)」(p. 28)を参照してください。

7.2. コンピュータスキャンをスケジュールする方法

コンピュータを定期的にスキャンすることは、マルウェアからコンピュータを守るのに最適な方法です。 BitDefenderでスキャンタスクをスケジュールして自動的にコンピュータをスキャンさせるようにすることができます。

コンピューターのスキャンをBitDefenderにスケジュールさせるには次の手順で行います：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左メニューにあるアンチウィルスをクリックします。
3. ウィルススキャン タブをクリックします。デフォルトのスキャンタスクを確認できます。また独自のスキャンタスクを作成することもできます。
 - システムタスクが利用可能で、Windowsのユーザごとに実行することができます。
 - ユーザタスクはそれを作成したユーザのみが実行でき、有効です。

スケジュールできるデフォルトのスキャンタスク：

| デフォルトタスク | 解説 |
|--------------|---|
| 完全システムスキャン | システム全体をスキャンします。 デフォルトの設定では、ウィルス、スパイウェア、アドウェア、ルートキットなどシステムのセキュリティを脅かすあらゆる種類のマルウェアをスキャンします。 |
| システムスキャン | アーカイブを除くシステム全体をスキャンします。 デフォルト設定では、ルートキット以外の全てのマルウェアの種類をスキャンします。 |
| クイックシステムスキャン | Windows と Program Files のフォルダをスキャンする。 デフォルトの設定ではRootkit以外のすべての種類のマルウェアを対象にスキャンしますが、メモリ、レジストリ、Cookieはスキャンしません。 |
| 自動ログオン スキャン | ユーザがWindowsにログオンしてきた際に動作している項目をスキャン このタスクを使用するには、システム起動時に実行するようスケジュールしなければなりません。 デフォルトでは自動ログオンスキャンは無効になっています。 |
| マイドキュメント | 現在のユーザの重要なフォルダをスキャンする場合にはこのタスクを使用します： マイドキュメント、デスクトップ、スタートアップ。これにより文書、作業環境、起動されるアプリケーションの安全を確認することができます。 |

ここにあるスキャンタスクで合ったものがなければ、新しくスキャンタスクを作成して、必要に応じてスケジュール実行させることができます。

4. 実行したいタスクスケジュールを右クリックして、スケジュールを選択します。新しいウインドウが開きます。
5. 必要に応じてタスクを実行するようスケジュール：
 - スキャンタスクを1度だけ実行するには、 1度を選択して開始日時を指定します。
 - システム起動時にスキャンタスクを実行するには 起動時を選択します。 起動からどのぐらい時間が経過してからその処理を開始するかを指定（分）できます。
 - スキャンタスクを定期的に実行させるには、 定期的 を選択して、周期と開始日時を指定します。



注意

例えば、コンピュータを毎土曜日の午前2時に実行させたい場合には、次のようにスケジュールを設定します：

- a. 定期的を選択します。
 - b. 値欄に1と入力して週をメニューから選択します。このようにしてタスクを毎週実行させます。
 - c. 開始日付を次の土曜日にセットします。
 - d. 開始時間を02:00:00にセットします。
6. OKをクリックしてこのスケジュールを保存します。このスキャンタスクは自動的に作成したスケジュールに従って実行されます。もしスケジュールした時間にコンピュータが停止している場合、そのタスクは次にコンピュータを起動した時間に実行されます。

8. BitDefenderの修復または削除

BitDefender Internet Security 2010を修復又は削除したい場合は、Windowsスタートメニューから次のように選択してください： スタート → プログラム → BitDefender 2010 → 修復又は削除。

次へをクリックして確認を行います。新しいウィンドウが表示されそこで以下の項目を選択できます：

- 修復 - 以前のSetupでインストールされたすべてのプログラムコンポーネントを再インストールします。

BitDefenderの修復を選ぶと新しいウィンドウが開きます。修復をクリックすると修復処理が開始されます。

表示が出たらコンピュータを再起動し、その後インストールをクリックし、BitDefender Internet Security 2010を再インストールしてください。

インストール処理が完了したら新しいウィンドウが開きます。終了をクリックします。

- 削除 - インストールされているすべてのコンポーネントを削除



注意

再インストールする場合は削除を選択することをお勧めします。

BitDefenderの削除を選択すると新しいウィンドウが開きます。



重要項目

BitDefenderを削除するとウィルス、スパイウェア、ハッカーから、もはや保護されなくなります。BitDefenderのアンインストール後、WindowsファイアウォールおよびWindows Defender（Windows Vistaのみ）を有効にするには、対応するチェックボックスを選択してください。

お使いのコンピュータから BitDefender Internet Security 2010 を削除開始するには、削除をクリックしてください。

削除処理が完了したら新しいウィンドウが開きます。終了をクリックします。



注意

削除処理が完了したらプログラムからBitDefenderフォルダを削除することをお勧めします。

9. トラブルシューティング

この章では、お客様がBitDefenderのご利用時に遭遇するかもしれない問題を取り上げ、その対処方法を記載しています。多くの問題は、正しい製品設定によって解決されます。

- 「インストールの問題」 (p. 59)
- 「BitDefenderサービスは応答していません」 (p. 62)
- 「Wi-Fi（ワイヤレス）ネットワーク内で、ファイル及び共有プリンタが機能していません。」 (p. 63)
- 「アンチスパムフィルタが正しく稼動していません」 (p. 67)
- 「BitDefenderの削除に失敗しました」 (p. 75)

ここにお客様の問題が記載されていない場合、又は記載されている問題が解決しない場合は、次の章にある BitDefender 技術サポートまでお問い合わせください「サポート」 (p. 76)。

9.1. インストールの問題

この項目では、BitDefenderで共通するインストールに関する問題の解決策を提供します。これらの問題は、以下のカテゴリ内にグループ化されます：

- **インストールの検証エラー**: セットアップウィザードは、お使いのシステムに特定の条件があるため、実行することができません。
- **インストールの失敗**: セットアップウィザードからインストールを開始しましたが、インストールに失敗しました。

9.1.1. インストールの検証エラー

セットアップウィザードを開始すると、多くの条件が検証されて、インストールが開始できるかどうかの確認を行います。以下の表では、最も共通するインストールの検証エラー、及びそれに対する解決策を表示しています。

| エラー | 説明&解決策 |
|-----------------------------------|--|
| お客様は、プログラムをインストールするための権限を持っていません。 | 設定ウィザードを実行して、BitDefenderをインストールするには、管理者の権限が必要になります。次の操作が行えます： <ul style="list-style-type: none">● Windows管理者のアカウントにログオンして、再度設定ウィザードを実行します。 |

| エラー | 説明&解決策 |
|--|--|
| インストーラが、正しくアンインストールされなかつた以前のBitDefenderバージョンを検出しました。 | <p>● インストールファイルを右クリックして、管理者として実行するを選択します。 ユーザ名とシステムの Windows管理者のアカウントのパスワードを入力してください。</p> <p>以前BitDefenderがお使いのシステムにインストールされていましたが、正しくアンインストールされませんでした。そのため新しいBitDefenderをインストールすることができません。</p> <p>このエラーを解決して、BitDefenderをインストールするには、次の手順に従ってください：</p> <ol style="list-style-type: none">1. www.bitdefender.com/uninstallをクリックして、お使いのコンピュータにアンインストールツールをダウンロードしてください。2. 管理者権限を使用して、アンインストールツールを実行してください。3. コンピュータを再起動してください。4. 再度、設定ウィザードを起動して、BitDefenderをインストールしてください。 |
| BitDefender製品は、お使いのオペレーティングシステムと互換性がありません。 | お客様は、サポートされていないオペレーティングシステムでBitDefenderのインストールを行っています。 「システム要件」 (p. 1) を確認して、BitDefenderをインストールできるオペレーティングシステムを見つけてください。 |
| インストールファイルは、違う種類のプロセッサ用に設計されています。 | お使いのオペレーティングシステムが、Windows XP のサービスパック1、又はサービスパック無しの場合は、サービスパック2以上をインストール可能で、設定ウィザードを再度実行できます。 |

エラー

説明&解決策

ら、インストールファイルを直接ダウンロードしてください。

9.1.2. インストールが失敗しました

正しいインストールが出来ない可能性がいくつかあります：

- インストール中、エラー画面が表示されます。インストールをキャンセルするよう指示があるか、あるいは、アンインストールツールを実行するボタンで、システムをクリーンアップするように促されるかもしれません。



注意

インストールの開始後すぐに、BitDefenderをインストールするために十分な空き容量がないことを通知されるかもしれません。この場合は、BitDefenderをインストールしたいパーティションで必要な空き容量を確保して、インストールを再び実行してください。

- インストール処理が進んでいません。恐らくお使いのシステムは停止しています。再起動を1回すればシステムのレスポンスが回復します。
- インストールが完了しましたが、BitDefenderのいくつかの、あるいは全ての機能を使用することができません。

インストールの失敗を解決して、BitDefenderのインストールを行うには、次の手順に従ってください：

1. インストールが失敗した後、システムをクリーンアップします。 インストールに失敗した場合、BitDefenderレジストリーやファイルが、お使いのシステムに残ってしまうかもしれません。これがBitDefenderを新しくインストールすることを妨げる可能性があります。システムの性能や安定性にも影響を与えるかもしれません。従って、製品を再びインストールする前に、それらを削除してください。

エラー画面でアンインストールツールを実行するボタンが表示された場合、ボタンをクリックして、システムをクリーンアップします。 別の方法では、次の手順があります：

- a. www.bitdefender.com/uninstallをクリックして、お使いのコンピュータにアンインストールツールをダウソードしてください。
- b. 管理者権限を使用して、アンインストールツールを実行してください。
- c. コンピュータを再起動してください。

2. インストールが失敗した原因を検証します。 製品を再インストールする前に、インストールの失敗を引き起こした原因を検証して、取り除いてください。
 - a. 他のセキュリティソリューション製品がインストールされていないかをご確認ください。BitDefenderの通常処理を混乱させてしまう恐れがあります。このような場合は、別のセキュリティソリューション製品を全て削除して、BitDefenderの再インストールを行ってください。
 - b. また、お使いのシステムが、ウィルスに感染していないかを確認する必要があります。次の操作が行えます：
 - BitDefender Rescue CD を使用して、お使いのコンピュータをスキャンして、既存するあらゆる脅威を削除します。 詳細は、ヘルプファイル又はユーザガイドを参考してください。
 - Internet Explorer ウィンドウを開いて、www.bitdefender.comへ進み、オンラインスキャンを実行してください。(オンラインスキャンボタンをクリックします)。
3. 再試行して、BitDefenderをインストールしてください。 www.bitdefender.jpからインストールファイルの最新バージョンをダウンロードして実行することをお勧めします。
4. 再度インストールに失敗した場合は、「サポート」(p. 76)項に記載されているBitDefenderサポートにお問い合わせください。

9. 2. BitDefenderサービスは応答していません

この項目では、次のエラーBitDefenderサービスの応答がありませんに関する解決策を記載しています。 次の内容のエラーが発生するかもしれません：

- システムトレイ内のBitDefenderアイコンは、グレーで表示されて、BitDefenderサービスは応答していないことをポップアップでお知らせします。
- BitDefenderウィンドウは、BitDefenderサービスが応答していないことを表示しています。

次の状態のいずれかにエラーの原因があるかもしれません：

- 重要なアップデートがインストールされました。
- 一時的にBitDefenderサービスへの通信エラーが発生しました。
- いくつかのBitDefenderサービスが停止しました。
- 別のセキュリティソリューションが、お使いのコンピュータ上でBitDefenderと一緒に実行しています。
- お使いのシステムのウィルスが、BitDefenderの通常操作に影響を与えています。

このエラーを解決するには、次の対策を行ってください：

1. 変更が反映されるまで、しばらくお待ちください。一時的なエラーです。
2. コンピュータを再起動して、BitDefenderが読み込まれるまで、しばらくお待ちください。BitDefenderを開いて、エラーが続いているかどうかを確認してください。コンピュータを再起動することで、通常、問題は解決します。
3. 他のセキュリティソリューション製品がインストールされていないかをご確認ください。BitDefenderの通常処理を混乱させてしまう恐れがあります。このような場合は、別のセキュリティソリューション製品を全て削除して、BitDefenderの再インストールに行ってください。
4. エラーが存在する場合は、より深刻な問題があるかもしれません。（例えば、BitDefenderを妨げるウィルスに感染しているかもしれません。）**「サポート」(p. 76)** 項に記載されているBitDefenderサポートにお問い合わせください。

9.3. Wi-Fi（ワイヤレス）ネットワーク内で、ファイル及び共有プリンタが機能していません。

この項目は、以下のWi-Fiネットワーク内のBitDefenderファイアーウォールに関する問題の解決策を提供しています。

- Wi-Fi ネットワーク内のコンピュータとファイルを共有できません。
- 付随するネットワークプリンタがWi-Fiネットワークへアクセスできません。
- Wi-Fiネットワーク内のコンピュータで共有されるプリンタにアクセスできません。
- Wi-Fiネットワーク内のコンピュータに付随するプリンタと共有できません。

これらの問題の解決を始める前に、セキュリティに関する情報及び Wi-Fiネットワーク内のBitDefenderファイアーウォール設定をご理解ください。セキュリティの観点で、Wi-Fi ネットワークは、以下のいずれかのカテゴリに分類されます。

- 保護されたWi-Fi ネットワーク。この種類のネットワークへは、許可されたWi-Fi 機器のみが接続できます。ネットワークへのアクセスはパスワードが必要です。保護されたWi-Fi ネットワークの例は、オフィスネットワーク内に設定されています。
- (保護されていない) Wi-Fi ネットワークを開く。保護されていないWi-Fiネットワーク内の、あらゆるWi-Fi機器は、そこに自由に接続することができます。保護されていないWi-Fi ネットワークが広範囲に使用されています。ほぼ全ての公共のWi-Fiネットワークを含んでいます（学校、喫茶店、飛行場等）。ワイヤレスルータを使用して設定するホームネットワークも、ルータのセキュリティを有効にするまでは、保護されていません。

お使いのコンピュータは、不明のコンピュータに接続されているため、保護されていないWi-Fi ネットワークは、大きなセキュリティリスクを抱えています。ファイアーウォールによって適切な保護がされていないと、ネットワークに接続する誰でもが、お客様の共有にアクセスでき、コンピュータにまで侵入することができます。

保護されていないWi-Fi ネットワークと接続すると、BitDefender は、このネットワーク内のコンピュータと自動的に通信をブロックします。インターネットにだけはアクセスできますが、ネットワーク内の別ユーザのファイルやプリンタを共有することはできません。

Wi-Fi ネットワークの通信を有効にするには、2つの方法があります：

- “信頼できるコンピュータ” ソリューションは、Wi-Fi ネットワーク内の指定したコンピュータ（信頼できるコンピュータ）とだけ、ファイルやプリンタを共有することができます。公共のWi-Fi ネットワーク（例：学校、喫茶店のネットワーク）に接続する際、及び友人のファイルやプリンタ、あるいはWi-Fi ネットワークプリンタにアクセスする際には、このソリューションをお使いください。
- “安全なネットワーク” ソリューションは、全てのWi-Fi ネットワーク（安全なネットワーク）のファイルとプリンタ共有を許可します。この解決策は、セキュリティ上の理由では推奨されませんが、特定の条件内では便利になるかもしれません。（例：ご自宅や、オフィスのWi-Fi ネットワークで使用することが出来ます）

9.3.1. “信頼できるコンピュータ” のソリューション

BitDefender ファイアーウォールを設定するには、Wi-Fi ネットワーク内のコンピュータのファイルやプリンタの共有を許可、あるいはWi-Fi ネットワークプリンタにアクセスします。次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側にあるメニューからファイアーウォールをクリックします。
3. ネットワークタブをクリックします。
4. ゾーンテーブル内で、Wi-Fi ネットワークを選択して、 追加ボタンをクリックします。
5. Wi-Fi ネットワーク内で検出されたデバイスの一覧から、対象のコンピュータあるいはWi-Fi ネットワークプリンタを選択してください。コンピュータやプリンタが自動的に検出されなかった場合は、ゾーン欄でIPアドレスを入力することができます。
6. 許可を選択します。
7. OKをクリックします。

選択されたコンピュータで、ファイルやプリンタを共有できない場合は、お使いのコンピュータのBitDefenderファイアーウォールが原因ではない場合が多いです。次のような、他の可能性がある原因をご確認ください：

- 他のコンピュータのファイアーウォールは、保護されていない（公共）Wi-Fi ネットワーク内で共有しているファイルやプリンタをブロックします。
 - ▶ そのファイアーウォールが、BitDefender2009 又はBitDefender2010 製品のものである場合は、もう一方のコンピュータでも同じ手順を行い、お使いのコンピュータとファイルやプリンタの共有を許可します。
 - ▶ Windowsファイアーウォールが使用されている場合は、以下のように、ファイルやプリンタの共有を許可する設定が可能です：Windowsファイアーウォール設定ウィンドウを開いて、例外タブ、をクリックして、select the ファイル及びプリンタ共有欄を選択します。
 - ▶ 別のファイアーウォールプログラム使用されている場合は、その説明書あるいはヘルプファイルを参照してください。
- 共有プリンタの使用又は接続を妨げる可能性がある一般的な条件：
 - ▶ 共有プリンタにアクセスするには、Windows管理者のアカウントにログインする必要があります。
 - ▶ 共有プリンタは、指定したコンピュータやユーザのみがアクセスすることを許可されています。 プリンタを共有している場合、別のコンピュータのユーザが、プリンタへのアクセスを許可されているかどうか、プリンタの許可設定を確認してください。 共有プリンタに接続を試みている場合は、プリンタに接続する許可を得ているかどうか、別のコンピュータのユーザに確認してください。
 - ▶ お使いのコンピュータ、あるいは別のコンピュータに接続しているプリンタは、共有されていません。
 - ▶ 共有プリンタは、コンピュータに追加されていません。



注意

共有プリンタの管理方法(プリンタの共有、プリンタの設定又は削除、ネットワークプリンタ、又は共有プリンタへ接続)は、Windows Help 及びサポートセンター(スタートメニューの、ヘルプ及びサポートをクリック)に進んでください。

Wi-Fi ネットワークプリンタにアクセスできない場合は、お使いのコンピュータのBitDefenderファイアーウォールが原因ではない場合が多いです。 Wi-Fiネットワークプリンタへの接続は、特定のコンピュータ又はユーザのみに制限されているかもしれません。 プリンタへの接続が許可されているかどうか、Wi-Fiネットワークの管理者に確認してください。

BitDefender ファイアーウォールに問題があると思われる場合は、「**サポート**」(p. 76) 項に記載されているBitDefenderサポートにお問い合わせください。

9.3.2. “安全なネットワーク” ソリューション

このソリューションは、ご家庭やオフィス内のWi-Fiネットワークにだけお使いいただくことをお勧めします。

BitDefenderファイアーウォールを設定するには、次の手順に従って、Wi-Fi ネットワーク全体で、ファイルやプリンタの共有を許可してください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側にあるメニューからファイアーウォールをクリックします。
3. ネットワークタブをクリックします。
4. ネットワーク設定表の、信頼レベル欄で、 Wi-Fi ネットワークに対応するセルの矢印をクリックしてください。
5. 確保したいセキュリティレベルに応じて、次のオプションからいずれかを選択してください：
 - 危険 - 共有のアクセス許可なしで、Wi-Fi ネットワーク内で共有されているファイルやプリンタにアクセスする。
 - 安全 - ファイルと共有プリンタ両方を許可します。これは、Wi-Fi ネットワークに接続するユーザは、共有ファイルやプリンタにもアクセスできることを意味しています。

Wi-Fi ネットワーク内の指定したコンピュータで、ファイルやプリンタを共有できない場合は、お使いのコンピュータのBitDefenderファイアーウォールが原因ではない場合が多いです。 次のような、他の可能性がある原因をご確認ください：

- 他のコンピュータのファイアーウォールは、保護されていない（公共）Wi-Fi ネットワーク内で共有しているファイルやプリンタをブロックします。
 - ▶ そのファイアーウォールが、BitDefender2009 又はBitDefender2010 製品のものである場合は、もう一方のコンピュータでも同じ手順を行い、お使いのコンピュータとファイルやプリンタの共有を許可します。
 - ▶ Windowsファイアーウォールが使用されている場合は、以下のように、ファイルやプリンタの共有を許可する設定が可能です：Windowsファイアーウォール設定ウインドウを開いて、例外タブ、をクリックして、select the ファイル及びプリンタ共有欄を選択します。
 - ▶ 別のファイアーウォールプログラム使用されている場合は、その説明書あるいはヘルプファイルを参照してください。

●共有プリンタの使用又は接続を妨げる可能性がある一般的な条件 :

- ▶ 共有プリンタにアクセスするには、Windows管理者のアカウントにログインする必要があります。
- ▶ 共有プリンタは、指定したコンピュータやユーザのみがアクセスすることを許可されています。 プリンタを共有している場合、別のコンピュータのユーザが、プリンタへのアクセスを許可されているかどうか、プリンタの許可設定を確認してください。 共有プリンタに接続を試みている場合は、プリンタに接続する許可を得ているかどうか、別のコンピュータのユーザに確認してください。
- ▶ お使いのコンピュータ、あるいは別のコンピュータに接続しているプリンタは、共有されていません。
- ▶ 共有プリンタは、コンピュータに追加されていません。



注意

共有プリンタの管理方法(プリンタの共有、プリンタの設定又は削除、ネットワークプリンタ、又は共有プリンタへ接続)は、Windows Help 及びサポートセンター(スタートメニューの、ヘルプ及びサポートをクリック)に進んでください。

Wi-Fi ネットワークプリンタにアクセスできない場合は、お使いのコンピュータの BitDefender ファイアーウォールが原因ではない場合が多いです。 Wi-Fi ネットワークプリンタへの接続は、特定のコンピュータ又はユーザのみに制限されているかもしれません。 プリンタへの接続が許可されているかどうか、Wi-Fi ネットワークの管理者に確認してください。

BitDefender ファイアーウォールに問題があると思われる場合は、「[サポート](#)」(p. 76) 項に記載されている BitDefender サポートにお問い合わせください。

9.4. アンチスパムフィルタが正しく稼動していません

この項目は、以下の BitDefender アンチスパムフィルタリングオペレーションに関する問題の解決策を提供しています：

- 多くの問題がない電子メールが次のように区別されました [spam].
- アンチスパムフィルタは多くの迷惑メールメッセージを区別していません
- アンチスパムフィルタはスパムメッセージを検出しませんでした

9.4.1. 問題がないメッセージが [spam] として区別されました。

問題がないメッセージが [spam] として区別されました。なぜならば、BitDefender のアンチスパムフィルタが認識するスパムと類似しているからです。 アンチスパムフィルタを正しく設定すると、この問題は通常解決することができます。

BitDefenderは電子メールメッセージの受信者を、自動的に友人リストに追加します。友人リスト内の連絡先から受信した電子メールメッセージは、問題がないものとして認識されます。それらはアンチスパムフィルタが確認を行わないので、[spam]として区別されることはありません。

友人リストの自動設定は、次のような状況で起こりうるエラー検出を防ぎません：

- 様々なウェブサイトに登録をしているため、多くの勧誘商業メールを受信します。このような場合の解決策は、対象の電子メールメッセージのアドレスを友人リストに追加します。
- 問題がない電子メールで最も重要なことは、以前電子メールを送信したことがない人々、例えば、顧客やビジネスパートナー等です。この場合他の解決策が必要です。

BitDefenderが統合するメールクライアントの1つを使用している場合は、以下の解決策をお試しください：

1. **エラー検出を表示** これはアンチスパムフィルタの学習エンジン（ベイジアン）を学習させるために使用します。そして今後のエラー検出の防止に役立ちます。学習エンジンは、表示されたメッセージを分析してそれらのパターンを学習します。次回から同じパターンと一致する電子メールメッセージは、[spam]として区別されません。
2. **アンチスパムプロテクションレベルを下げます。** プロテクションレベルを下げるとき、アンチスパムフィルタは、電子メールを迷惑メールと分類するための迷惑メールをより多く表示します。多くの問題がないメッセージ（勧誘商業メールを含む）が、迷惑メールとして間違って検出される場合は、この解決策をお試しください。
3. **学習エンジン（ベイジアンフィルタ）を再学習させる** 前回の解決策に満足する結果が得られなかった場合は、この方法をお試しください。



注意

BitDefenderは、使いやすいアンチスパムツールバーを介して、最も共通して使用されるメールクライアントを統合します。サポートされた全てのメールクライアントの一覧は、「[サポートされたソフトウェア](#)」(p. 2)をご参照ください。

別のメールクライアントを使用している場合は、エラー検出を表示することができず、学習エンジンを学習させることができません。問題を解決するには、アンチスパム保護レベルを下げるごとに試みてください。

連絡先を友人リストに追加

サポートされたメールクライアントを使用している場合は、問題がないメッセージの送信者を簡単に友人リストに追加することができます。次の手順に従ってください：

1. メールクライアントで、友人リストに追加したい送信者からの電子メールメッセージを選択します。
2. BitDefenderアンチスパムツールバーの 友人を追加ボタンをクリックしてください。
3. 友人リストに追加するアドレスの承認を求められるかもしれません。このメッセージを今後表示しませんを選択して、OKをクリックします。

このアドレスから届くメールメッセージは、その内容に関わらず常に受け取ります。別のメールクライアントを使用している場合は、連絡先をBitDefenderインターフェイスから友人リストに追加することができます。次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側にあるメニューからアンチスパムをクリックします。
3. ステータstabをクリックします。
4. 友人を管理をクリックしてください。設定画面が表示されます。
5. 常に電子メールメッセージを受信したいアドレスを入力して、ボタンをクリックし、友人リストにアドレスを追加します。
6. OKをクリックして変更を保存しウィンドウを閉じます。

エラー検出を表示

サポートされたメールクライアントを使用している場合は、簡単にアンチスパムフィルタを修正することができます。（[spam]として区別しない電子メールメッセージを表示する。）このように設定すると、アンチスパムフィルタの効率が大幅に向上します。次の手順に従ってください：

1. お使いのメールクライアントを開いてください。
2. 迷惑メールメッセージが移動した迷惑メールフォルダを選択してください。
3. BitDefenderが[spam]として誤って区別した、問題がないメッセージを選択します。
4. BitDefenderアンチスパムツールバーの 友人を追加ボタンをクリックして、送信者を友人リストに追加します。承認するためにOKのクリックが求められるか

もしません。 このアドレスから届くメールメッセージは、その内容に関わらず常に受け取ります。

5. BitDefenderアンチスパムツールバーの 非迷惑メール ボタンをクリックしてください。(通常メールクライアント画面の上側にあります) これは、選択されたメッセージが非迷惑メールであることを学習エンジンに学習させます。この電子メールメッセージは受信フォルダに移動されます。 次回から同じパターンと一致する電子メールメッセージはもはや、[spam] として区別されません。

アンチスパムプロテクションレベルを下げる

アンチスパムプロテクションレベルを下げるには、次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側にあるメニューからアンチスパムをクリックします。
3. ステータstabをクリックします。
4. スライダーをスケールの下側に移動させます。

1つだけ保護レベルを下げるをお勧めします。結果を評価するまでしばらくお待ちください。依然として問題がない電子メールメッセージが[spam]として区別される場合は、さらに保護レベルを下げることができます。多くの迷惑メールメッセージが検出されない場合は、保護レベルを下げるべきではありません。

学習エンジン（ベイジアン）を再学習させる

学習エンジン（ベイジアン）を学習させる前に、迷惑メールメッセージだけを含むフォルダと、問題がないメッセージだけを含む別のフォルダを準備します。学習エンジンは、それらを分析してスパムと定義する特徴、あるいは通常受信する問題がないメッセージの特徴を学習します。効率良く学習させるために、それぞれのカテゴリに50メッセージ以上が必要になります。

ベイジアンデータベースをリセットして、学習エンジンを再学習させるには、次の手順に従ってください：

1. お使いのメールクライアントを開いてください。
2. BitDefenderアンチスパムツールバーで、 ウィザードボタンをクリックして、アンチスパム設定ウィザードを開始してください。
3. 次へをクリックします。
4. この手順をスキップを選択して、次へをクリックします。
5. アンチスパムフィルタのデータベースをクリアにするを選択して、次へをクリックしてください。

6. 問題がないメッセージを含むフォルダを選択して、次へをクリックします。
7. 迷惑メールメッセージを含むフォルダを選択して、次へをクリックします。
8. 終了をクリックすると、学習処理が開始します。
9. 学習が終了すると、閉じるをクリックします。

9. 4. 2. 多くの迷惑メールメッセージが検出されていません。

[spam]として区別されていない多くの迷惑メールメッセージ受信している場合は、効率を良くするためにBitDefender アンチスパムフィルタを設定する必要があります。

BitDefenderが統合するメールクライアントの1つを使用している場合は、以下の解決策を1つずつお試しください：

- 1. 検出されていない迷惑メールメッセージを表示** これはアンチスパムフィルタの学習エンジン（ベイジアン）を学習させるために使用し、通常迷惑メール検出を向上させます。 学習エンジンは、表示されたメッセージを分析してそれらのパターンを学習します。 次回から同じパターンと一致する電子メールメッセージは、[spam]として区別されます。
- 2. 迷惑メール送信者を迷惑メール送信者リストに追加** 迷惑メール送信者リストのアドレスから受信した電子メールは、[spam]として自動的に区別されます。
- 3. アンチスパムプロテクションレベルを上げます。** プロテクションレベルを上げると、アンチスパムフィルタは、電子メールを迷惑メールとして分類するための迷惑メール表示を少なくします。
- 4. 学習エンジン（ベイジアンフィルタ）を再学習させる** アンチスパム検出が満足に機能せず、検出されていない迷惑メールメッセージが表示されない場合は、この解決策を行ってください。



注意

BitDefenderは、使いやすいアンチスパムツールバーを介して、最も共通して使用されるメールクライアントを統合します。 サポートされた全てのメールクライアントの一覧は、「**サポートされたソフトウェア**」(p. 2)をご参照ください。

別のメールクライアントを使用している場合は、迷惑メールメッセージを表示することができず、学習エンジンを学習させることができません。問題を解決するには、アンチスパム保護レベルを上げて、迷惑メール送信者を迷惑メール送信者リストに追加することを試みてください。

検出されていない迷惑メールメッセージを表示する

サポートされたメールクライアントを使用している場合は、どの電子メールが迷惑メールとして検出されるべきであるかを簡単に表示することができます。そうすると、アンチスパムフィルタの効率をかなり改善します。 次の手順に従ってください：

1. お使いのメールクライアントを開いてください。
2. 受信フォルダに進んでください。
3. 検出されていない迷惑メールメッセージを選択します。
4. BitDefenderアンチスパムツールバーのX 迷惑メール ボタンをクリックしてください。(通常メールクライアント画面の上側にあります)これは、選択されたメッセージが迷惑メールであることを学習エンジンに学習させます。 [spam]として区別された電子メールメッセージは迷惑メールフォルダに移動します。 次回から同じパターンと一致する電子メールメッセージは、[spam]として区別されます。

迷惑メール送信者を迷惑メール送信者リストに追加

サポートされたメールクライアントを使用している場合は、迷惑メールメッセージの送信者を簡単に迷惑メール送信者リストに追加することができます。次の手順に従ってください：

1. お使いのメールクライアントを開いてください。
2. 迷惑メールメッセージが移動した迷惑メールフォルダを選択してください。
3. BitDefenderが[spam]として区別したメッセージを選択します。
4. BitDefenderアンチスパムツールバーの+ 迷惑メール送信者を追加ボタンをクリックしてください。
5. 迷惑メール送信者リストに追加するアドレスの承認を求められるかもしれません。このメッセージを今後表示しませんを選択して、OKをクリックします。

別のメールクライアントを使用している場合は、BitDefender インターフェースから、迷惑メール送信者を迷惑メール送信者リストに手動で追加することができます。同じ電子メールアドレスから複数の迷惑メールを受信している場合にのみ便利な機能になります。次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側にあるメニューからアンチスパムをクリックします。
3. ステータスタブをクリックします。

4. 迷惑メール送信者を管理をクリックしてください。 設定画面が表示されます。
5. 迷惑メール送信者の電子メールアドレスを入力して、ボタンをクリックして、迷惑メール送信者リストにアドレスを追加します。
6. OKをクリックして変更を保存しウィンドウを閉じます。

アンチスパムプロテクションレベルを上げる

アンチスパムプロテクションレベルを上げるには、次の手順に従ってください：

1. BitDefenderを開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
2. 左側にあるメニューからアンチスパムをクリックします。
3. ステータスタブをクリックします。
4. スライダーをスケールの上側に移動させます。

学習エンジン（ベイジアン）を再学習させる

学習エンジン（ベイジアン）を学習させる前に、迷惑メールメッセージだけを含むフォルダと、問題がないメッセージだけを含む別のフォルダを準備します。学習エンジンは、それらを分析してスパムと定義する特徴、あるいは通常受信する問題がないメッセージの特徴を学習します。効率良く学習させるために、それぞれフォルダ内で、50メッセージ以上が必要になります。

ベイジアンデータベースをリセットして、学習エンジンを再学習させるには、次の手順に従ってください：

1. お使いのメールクライアントを開いてください。
2. BitDefenderアンチスパムツールバーで、 ウィザードボタンをクリックして、アンチスパム設定ウィザードを開始してください。
3. 次へをクリックします。
4. この手順をスキップを選択して、次へをクリックします。
5. アンチスパムフィルタのデータベースをクリアにするを選択して、次へをクリックしてください。
6. 問題がないメッセージを含むフォルダを選択して、次へをクリックします。
7. 迷惑メールメッセージを含むフォルダを選択して、次へをクリックします。
8. 終了をクリックすると、学習処理が開始します。
9. 学習が終了すると、閉じるをクリックします。

9.4.3. アンチスパムフィルタは迷惑メールメッセージを検出しません。

迷惑メールメッセージが、 [spam] として区別されない場合は、 BitDefender アンチスパムフィルタに問題があるかもしれません。この問題を解決する前に、次の状態のいずれかが原因でないかをご確認ください：

- BitDefender アンチスパムプロテクションは、 POP3 プロトコル経由の電子メールメッセージの受信設定を行ったメールクライアントのみ、有効になります。これは以下を意味しています：
 - ▶ ウェブベースの電子メールサービス経由で受信したメッセージ (Yahoo, Gmail, Hotmail 等) に対して、 BitDefender はスパムに対するフィルタリングを行いません。
 - ▶ お使いの電子メールクライアントが、 POP3 以外のプロトコル (例 IMAP4) を使用して電子メールメッセージの受信を設定している場合は、 BitDefender アンチスパムフィルタは、スパムに対するチェックを行いません。



注意

POP3 は、メールサーバから電子メールメッセージをダウンロードするために、最も使用されているプロトコルの内の 1 つです。電子メールメッセージをダウンロードするメールクライアントのプロトコルがお分かりにならない場合は、電子メールクライアントを設定された方にご確認ください。

- BitDefender Internet Security 2010 は、 Lotus Notes POP3 通信はスキヤンしません。

以下の可能性がある原因もご確認ください：

1. アンチスパムが有効かどうかをご確認ください。
 - a. BitDefender を開く。
 - b. ウィンドウの右上にある設定 ボタンをクリックしてください。
 - c. セキュリティ設定のカテゴリで、アンチスパムの状態をご確認ください。
2. 大変考えにくいケースですが、お客様または(他のユーザ)が、 BitDefender が迷惑メールメッセージを [spam] としてマークしないよう設定していないか、ご確認ください。
 - a. BitDefender を開いて、ユーザインターフェイスを'上級者モード'に切り替えてください。
 - b. メニューの左側にあるアンチスパムをクリックして、設定タブを選択します。

c. 件名に迷惑メール表示を追加が選択されているかをご確認ください。

有効な解決策は、製品の修復又は再インストールです。一方で、BitDefenderのサポートにお問い合わせを希望される場合に関しては、この「サポート」(p. 76)項をご確認ください。

9.5. BitDefenderの削除に失敗しました

この項目は、BitDefenderを削除する時に発生する可能性があるエラーの解決策を記載しています。起こりうる状況が二つあります：

- 削除中、エラー画面が表示されます。画面に、システムをクリーンアップするアンインストールツールを実行するボタンが表示されます。
- 削除処理が進んでいません。恐らくお使いのシステムは停止しています。キャンセルをクリックして、削除を停止してください。この操作ができない場合は、システムを再起動してください。

削除に失敗した場合、BitDefenderレジストリキーやファイルが、お使いのシステムに残ってしまうかもしれません。これがBitDefenderを新しくインストールすることを妨げる可能性があります。。システムの性能や安定性にも影響を与えるかもしれません。お使いのシステムから BitDefenderを完全に削除するためには、アンインストールツールを実行しなければなりません。

画面にエラーが表示されて削除に失敗した場合は、アンインストールツールを実行するボタンをクリックして、システムをクリーンアップしてください。別 の方法では、次の手順があります：

1. www.bitdefender.com/uninstallをクリックして、お使いのコンピュータにアンインストールツールをダウンロードしてください。
2. 管理者権限を使用して、アンインストールツールを実行してください。アンインストールツールは自動削除処理で削除されなかったすべてのファイルとレジストリキーを削除します。
3. コンピュータを再起動してください。

この情報がお役に立たない場合は、「サポート」(p. 76)項に記載されている BitDefenderサポートにお問い合わせください。

10. サポート

BitDefenderは、速くて正確なサポートをお客様に提供するよう努力しています。 BitDefender Knowledge Baseでは、BitDefenderに関する問題や質問についての解決策を提供しています。このKnowledge Baseで解決策が得られなかった場合には、BitDefenderのカスタマーケアに問い合わせることができます。サポートではご質問にできるだけはやく回答し、お役に立てるよう努力いたします。

10.1. ヘルプを依頼

ヘルプに問い合わせるためには、BitDefenderウェブセルフサービスを使う必要があります。次の手順に従ってください：

1. <http://www.bitdefender.com/help>にアクセスします。ここでBitDefender Knowledge Baseをみつけることができます。 BitDefender Knowledge BaseはBitDefenderに関する数多くの解決策を提供しています。
2. BitDefender Knowledge Baseでお困りの問題に対する解決策を検索してください。
3. 関連事項をご覧になり、提示されてる解決策を試してみてください。
4. その解決策で問題が解決されなかった場合には、そのページ内のリンクからBitDefenderカスタマーケアにお問い合わせください。
5. お客様のBitDefenderアカウントにログインしてください
6. BitDefenderサポートにメールでお問い合わせください。

10.2. 連絡先

効率の良いコミュニケーションこそが、ビジネス成功の秘訣です。BITDEFENDERは過去10年間、顧客やパートナーの期待を超えるよりよいコミュニケーションのために常に努力し続けたことで高い評価を得ています。質問があればお気軽にご相談ください。

10.2.1. ウェブアドレス

営業：sales@bitdefender.jp
テクニカルサポート：www.bitdefender.com/help
文書制作：documentation@bitdefender.com
パートナープログラム：partners@bitdefender.jp
マーケティング：marketing@bitdefender.jp
広報：pr@bitdefender.jp
求人：jobs@bitdefender.jp

ウィルス報告 : virus_submission@bitdefender.com
迷惑メールの連絡 : spam_submission@bitdefender.com
悪用の報告 : abuse@bitdefender.jp
製品のウェブサイト : <http://www.bitdefender.jp>
製品のアーカイブ : <http://download.bitdefender.jp/pub>
各地の代理店 : : <http://www.bitdefender.com/site/Partnership/list/>
BitDefender Knowledge Base (英文) : <http://kb.bitdefender.com>

10.2.2. BitDefender事業所

BitDefenderの支店およびその代理店は、営業に関するものでも一般的なものでも、その地域での活動に関する問い合わせにいつでも回答いたします。それぞれの所在地と連絡先は次の通りです。

U. S. A

BitDefender, LLC
6301 NW 5th Way, Suite 3500
Fort Lauderdale, Florida 33309
電話(事務所&営業) : 1-954-776-6262
営業部門 : sales@bitdefender.com
Technical support: <http://www.bitdefender.com/help>
ウェブサイト : <http://www.bitdefender.com>

Germany

BitDefender GmbH
Airport Office Center
Robert-Bosch-Straße 2
59439 Holzwickede
Deutschland
事務所 : +49 2301 91 84 222
営業部門 : vertrieb@bitdefender.de
Technical support: <http://kb.bitdefender.de>
ウェブサイト : <http://www.bitdefender.de>

UK and Ireland

Business Centre 10 Queen Street
Newcastle, Staffordshire
ST5 1ED
メール : info@bitdefender.co.uk
電話 : +44 (0) 8451-305096

営業部門 : sales@bitdefender.co.uk
Technical support: <http://www.bitdefender.com/help>
ウェブサイト : <http://www.bitdefender.co.uk>

Spain

BitDefender España SLU
C/ Balmes, 191, 2^o, 1^a, 08006
Barcelona
Fax : +34 932179128
電話 : +34 902190765
営業部門 : comercial@bitdefender.es
Technical support: www.bitdefender.es/ayuda
ウェブサイト <http://www.bitdefender.es>

Romania

BITDEFENDER SRL
West Gate Park, Building H2, 24 Preciziei Street
Bucharest
Fax : +40 21 2641799
営業 : +40 21 2063470
営業宛メールアドレス : sales@bitdefender.ro
Technical support: <http://www.bitdefender.ro/suport>
ウェブサイト <http://www.bitdefender.ro>